

**香芝市学校施設等長寿命化計画
(個別施設計画)**

**令和2年3月
香芝市教育委員会**

香芝市学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）

目次

第1章	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）の理念	
1.	計画の位置づけ	1
2.	対象施設	1
3.	計画期間	1
第2章	学校施設等を取り巻く現状と課題	
1.	学校施設等の概要	2
2.	学校の設置状況の推移	4
3.	学校施設等の配置状況	5
4.	地域状況の把握	7
5.	児童生徒数及び学級数の推移	9
6.	建物の保有状況	19
7.	老朽化状況の把握	20
8.	施設関連経費及び将来施設経費の推移	24
第3章	学校施設等整備方針	
1.	目指すべき姿	27
2.	学校施設等整備方針	29
3.	施設整備の水準	31
第4章	学校施設等長寿命化計画	
1.	整備方式及び整備の方向性	32
2.	長期の整備費用	34
3.	整備スケジュール（直近10年）	34
4.	学校の適正規模・適正配置と連動した長寿命化計画の推進	37
第5章	今後の検討課題 ～さらなる改善に向けて～	38
第6章	計画の継続的運用方針	
1.	情報基盤の整備と活用	40
2.	推進体制等の整備	41
3.	フォローアップ	41

参考資料

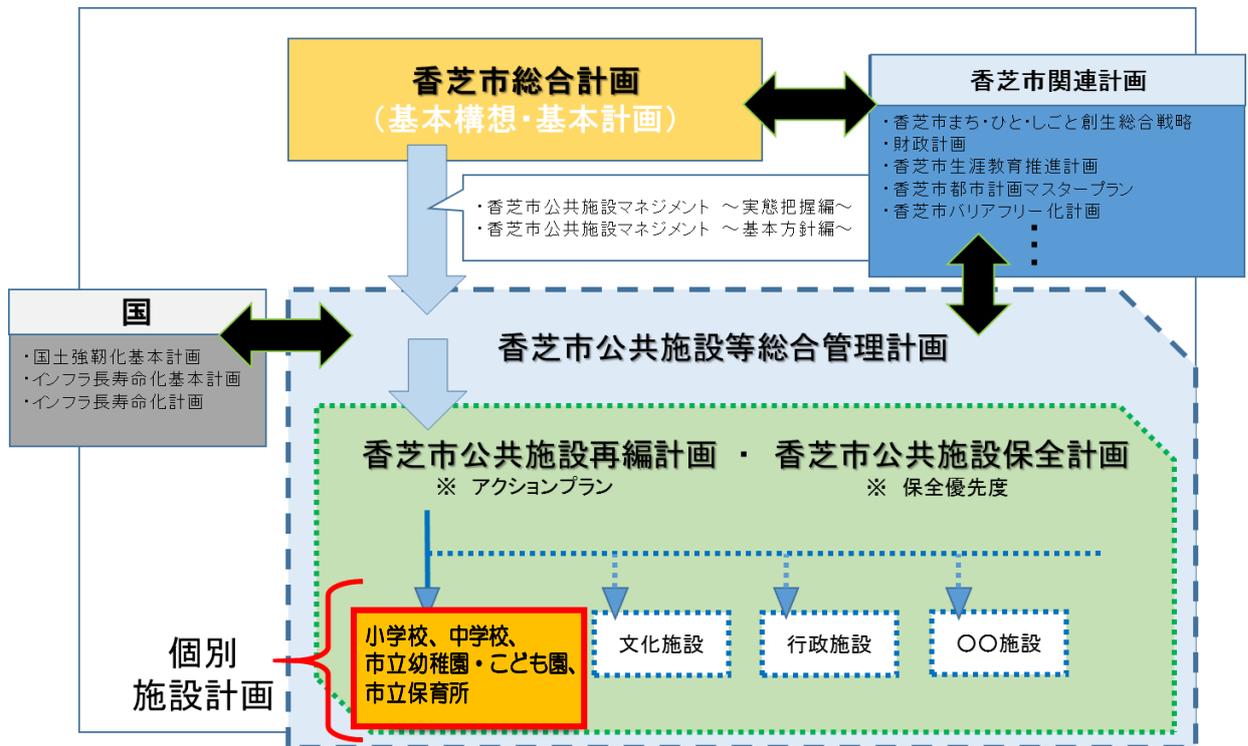
建物情報一覧表

※ 図及び表のデータ数値は、端数処理をしているため合計と一致しない場合があります。

第1章 学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）の理念

1. 計画の位置づけ

香芝市学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）は、平成28年11月に策定された香芝市公共施設等総合管理計画を上位計画とした香芝市公共施設再編計画及び香芝市公共施設保全計画に基づく建築系施設の個別施設ごとの具体的な対応を示した計画です。また、国の「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画（インフラ長寿命化計画＝総合管理計画）に基づく実施計画である個別施設計画として位置づけます。



2. 対象施設

小学校10校、中学校4校の計14校、市立幼稚園・こども園9園、市立保育所5園を対象とします。

3. 計画期間

計画期間は、2020(R2)年度から2059(R41)年度の40年間とします。香芝市公共施設等総合管理計画及び再編計画の考え方を踏襲し、40年間で4期に分け、第1期・10年間は施設ごとの整備スケジュールをまとめます。

ただし、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメントの取り組みや施設の老朽化状況、国の施策や社会情勢等により適宜見直しを図っていきます。

第2章 学校施設等を取り巻く現状と課題

1. 学校施設等の概要

(1) 小学校、中学校

本市では、小学校、中学校を合計 14 校保有しています。14 校の合計延床面積は約 9.5 万㎡です。

小学校では、大規模校（19 学級以上）が 3 校、小規模校（11 学級以下）が 2 校、中学校では、大規模校（19 学級以上）が 1 校となっています。

図表 学校施設一覧（2019（R元）年5月1日現在）

※築後年数赤字：築30年以上

名称	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
					通常学級 在籍者数	特別 支援	通常学級	特別 支援	
小学校	1 五位堂小学校	五位堂二丁目300番地1	11,093	5,458	1968	413	17	15	4
	2 下田小学校	下田西二丁目9番41号	19,050	6,215	1967	717	42	24	10
	3 二上小学校	畑四丁目573番地	12,514	6,409	1969	771	25	24	5
	4 関屋小学校	関屋北五丁目7番1号	23,129	5,126	1971	415	8	13	2
	5 志都美小学校	今泉104番地1	9,009	4,279	1962	258	9	10	2
	6 三和小学校	良福寺665番地2	14,191	4,928	1976	416	24	13	4
	7 鎌田小学校	鎌田370番地	18,232	3,930	1982	218	10	9	3
	8 真美ヶ丘東小学校	真美ヶ丘三丁目2番70号	29,052	6,819	1982	483	24	16	5
	9 真美ヶ丘西小学校	真美ヶ丘五丁目4番20号	22,321	4,986	1987	409	10	14	3
	10 旭ヶ丘小学校	旭ヶ丘三丁目1番地3	21,069	8,577	1994	852	35	27	7
小学校 計			179,660	56,728		4,952	204	165	45
中学校	1 香芝中学校	磯壁一丁目1058番地2	37,698	13,559	1974	604	30	17	7
	2 香芝西中学校	穴虫3096番地2	63,820	7,684	1982	528	14	15	3
	3 香芝東中学校	真美ヶ丘二丁目12番27号	34,471	8,186	1983	620	17	17	4
	4 香芝北中学校	旭ヶ丘四丁目14番地	24,902	9,074	1999	686	19	19	4
中学校 計			160,891	38,504		2,438	80	68	18
学校施設 合計			340,551	95,231		7,390	284	233	63

※「建築年度」は、校舎棟（又は特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記載

(2) 幼稚園・こども園、保育所

本市では、市立幼稚園・こども園 9 園、市立保育所 5 園を保有しています。14 園の合計延床面積は約 1.4 万㎡です。

少子化は進行しているものの、共働き家庭の増加や多様化等により、家庭内保育ができない世帯は増加傾向にあり、本市の市立保育所においても、入所希望が市域全体で増えてきています。一方、市立幼稚園においては、4歳児・5歳児の2年保育のみを行っている幼稚園に関しては、著しく入園希望者数が減少している幼稚園もあります。

図表 幼稚園施設一覧 (2019 (R元) 年 5月1日現在)

※築後年数赤字：築30年以上

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	在籍園児数 A	認可定員 B	充足率 A/B	備考
市立	五位堂 1 五位堂幼稚園	五位堂二丁目345番地1	868	1971	S	50	140	36%	
	二上 2 二上幼稚園	畑四丁目608番地	597	1972	S	60	140	43%	
	志都美 3 志都美幼稚園	今泉78番地	716	1973	S	24	70	34%	
	関屋 4 関屋幼稚園	関屋北五丁目6番4号	893	1975	S	61	105	58%	
	三和 5 三和幼稚園	良福寺666番地	975	1977	S	84	175	48%	
	真美ヶ丘西 6 真美ヶ丘東幼稚園	真美ヶ丘三丁目3番24号	1,243	1987	S	162	210	77%	
	旭ヶ丘 7 旭ヶ丘幼稚園	旭ヶ丘三丁目11番地1	1,448	2004	RC	132	210	63%	
	鎌田 8 認定こども園 鎌田幼稚園	鎌田364番地1	818	1987	S	68	90	76%	
	下田 9 認定こども園 下田幼稚園	下田西二丁目9番23号	1,130	1970	S	152	176	86%	
合計			8,688			793	1,316	60%	

図表 保育所施設一覧 (2019 (R元) 年 7月1日現在)

※築後年数赤字：築30年以上

小学校区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	在籍園児数(2019.7.1現在)						認可定員 B	充足率 A/B	備考	
						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				計 A
市立	五位堂 1 五位堂保育所	五位堂三丁目464番地1	726	1977	S	9	24	24	25	26	25	133	120	111%	
	下田 2 若葉保育所	下田西二丁目6番地27	1,029	1977	S	9	25	30	39	42	35	180	150	120%	
	三和 3 みつわ保育所	良福寺419番地	1,651	2017	S	9	25	36	44	41	42	197	200	99%	
	二上 4 二上保育所	畑四丁目545番地	879	1982	S	3	19	24	21	25	26	118	120	98%	
	真美ヶ丘東 5 真美ヶ丘保育所	真美ヶ丘六丁目9番1号	905	1984	S	11	20	28	46	28	28	161	150	107%	
合計			5,190			41	113	142	175	162	156	789	740	107%	

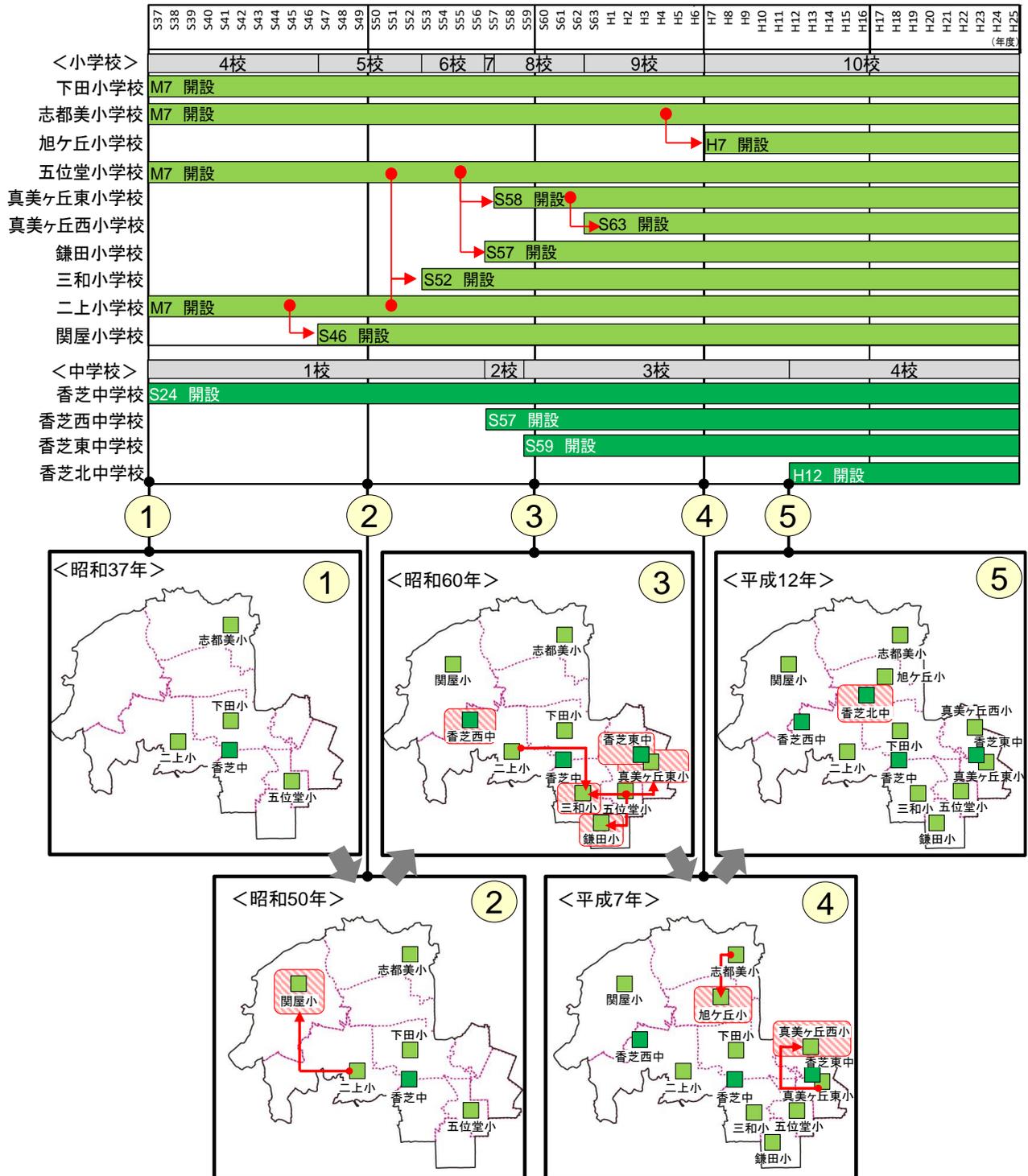
※「建築年度」は、園舎棟など主要棟で最も古い建築年度を記載

2. 学校の設置状況の推移

昭和30年代、小学校4校、中学校1校からスタートしています。

人口増加に伴い新設していき、2000(H12)年度時点で、現在の小学校10校、中学校4校になりました。

図表 学校の設置状況の推移

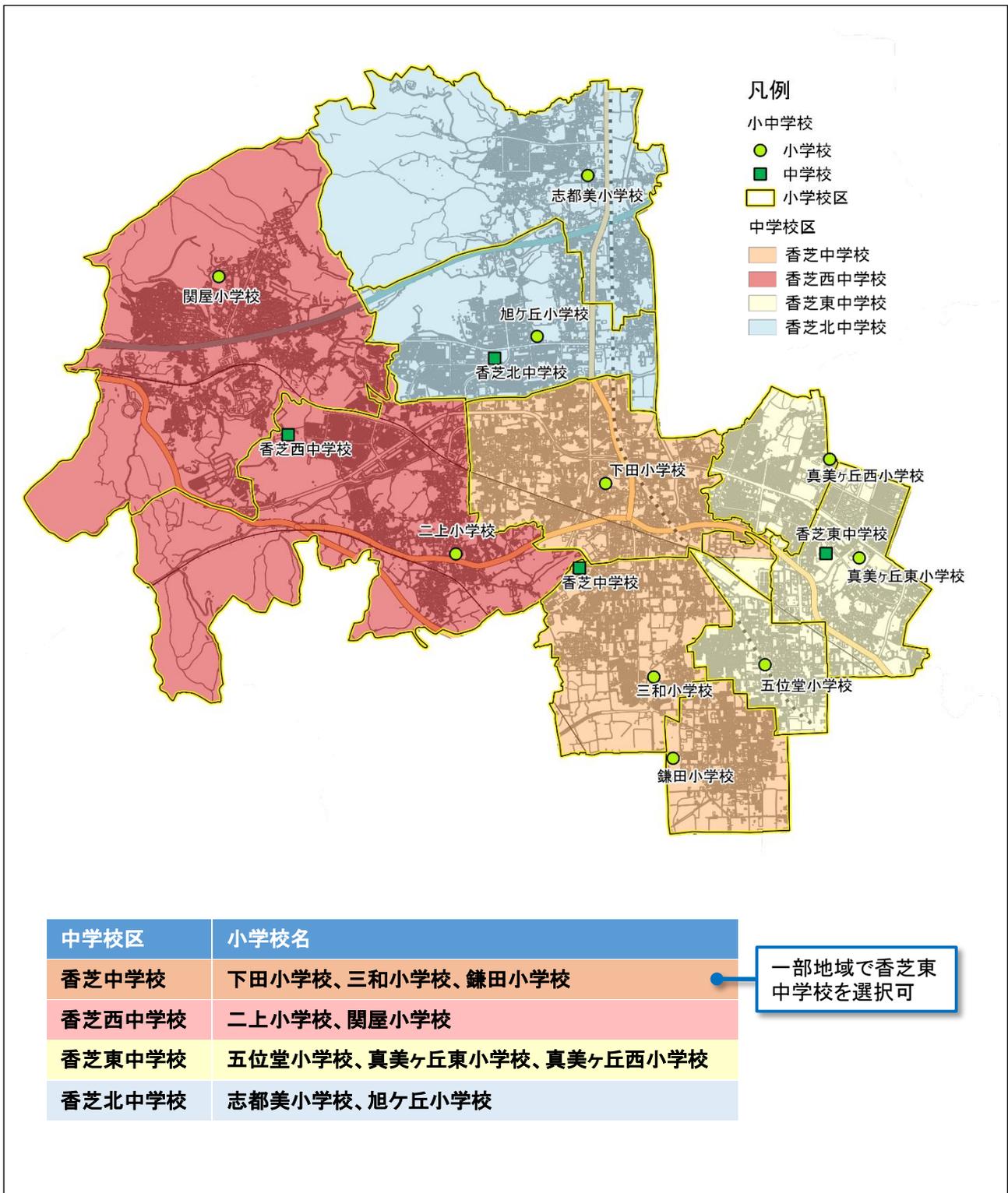


3. 学校施設等の配置状況

(1) 小学校、中学校

小学校区と中学校区は概ね一致しています。

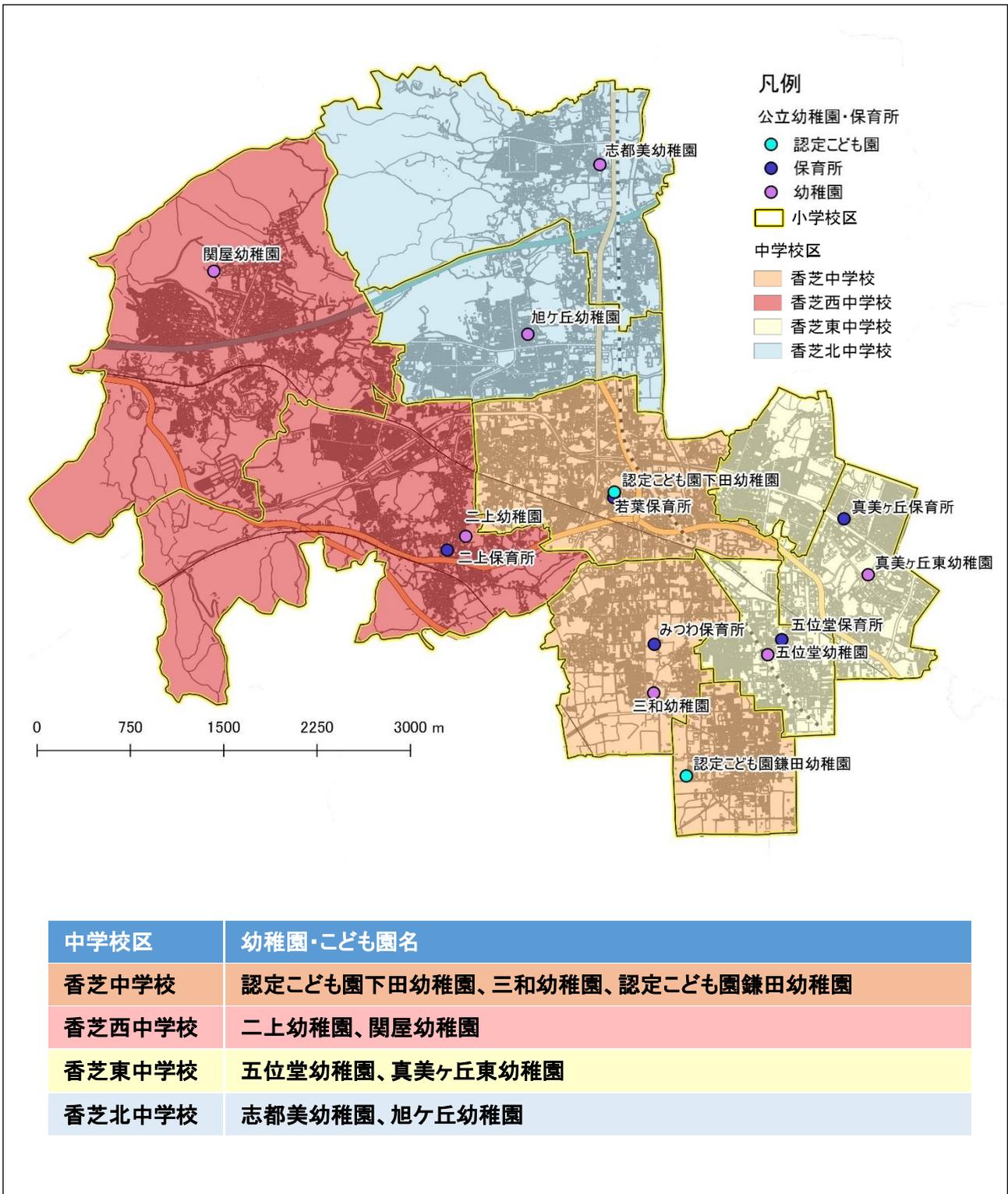
図表 小学校、中学校配置図



(2) 幼稚園・こども園、保育所

幼稚園・こども園区は、小学校区と概ね一致しています。

図表 幼稚園・こども園、保育所配置図



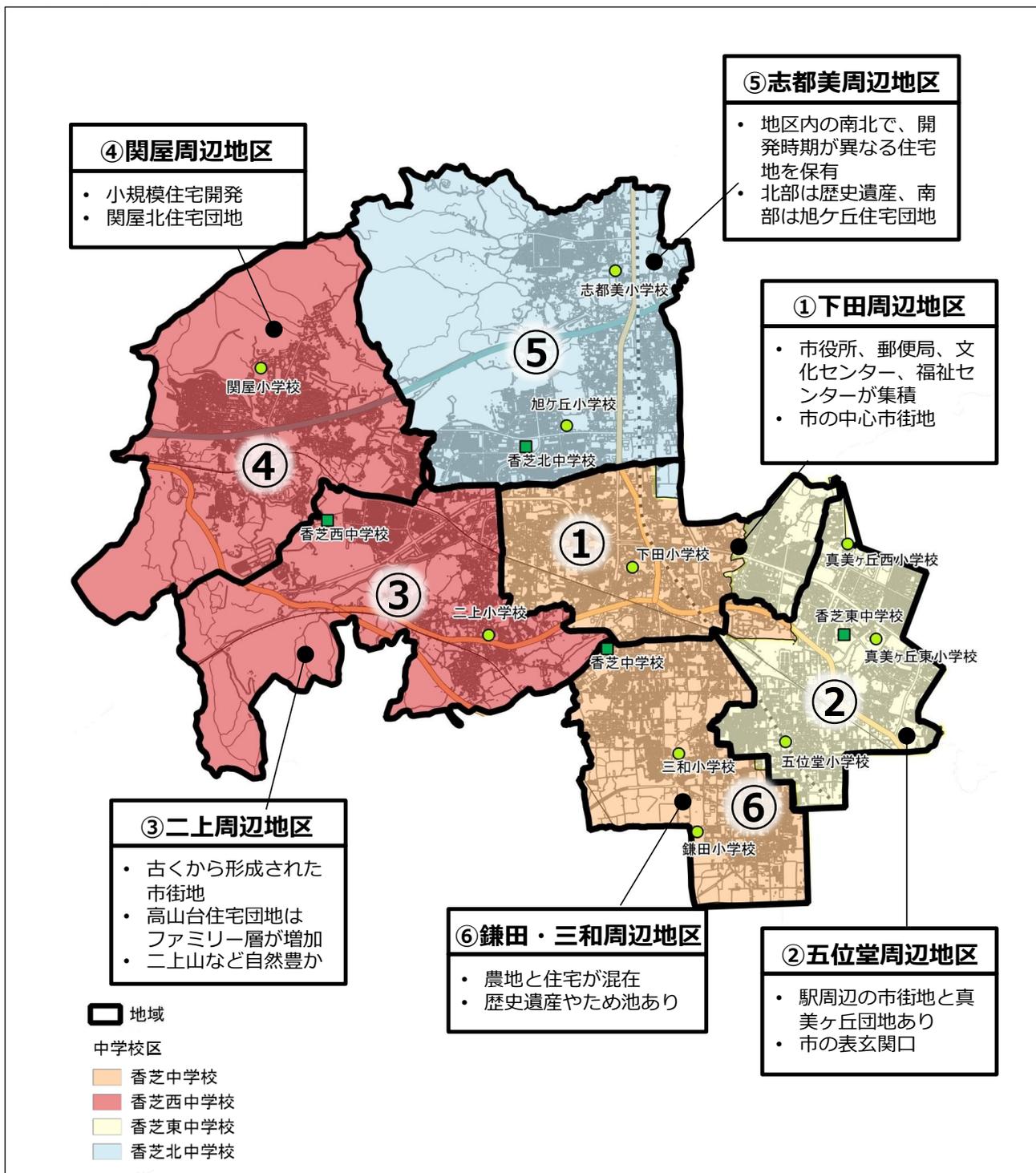
4. 地域状況の把握

(1) 地域区分

本市では、都市計画マスタープランにおいて、地域の特性を活かしたまちづくりを推進するため、駅などを拠点とした下田周辺地区、五位堂周辺地区、二上周辺地区、関屋周辺地区、志都美周辺地区、鎌田・三和周辺地区の6地域を設定しています。

地域区分は、複数の小学校区を単位として、適切なまとまりのある空間となるよう設定されています。

図表 地域区分

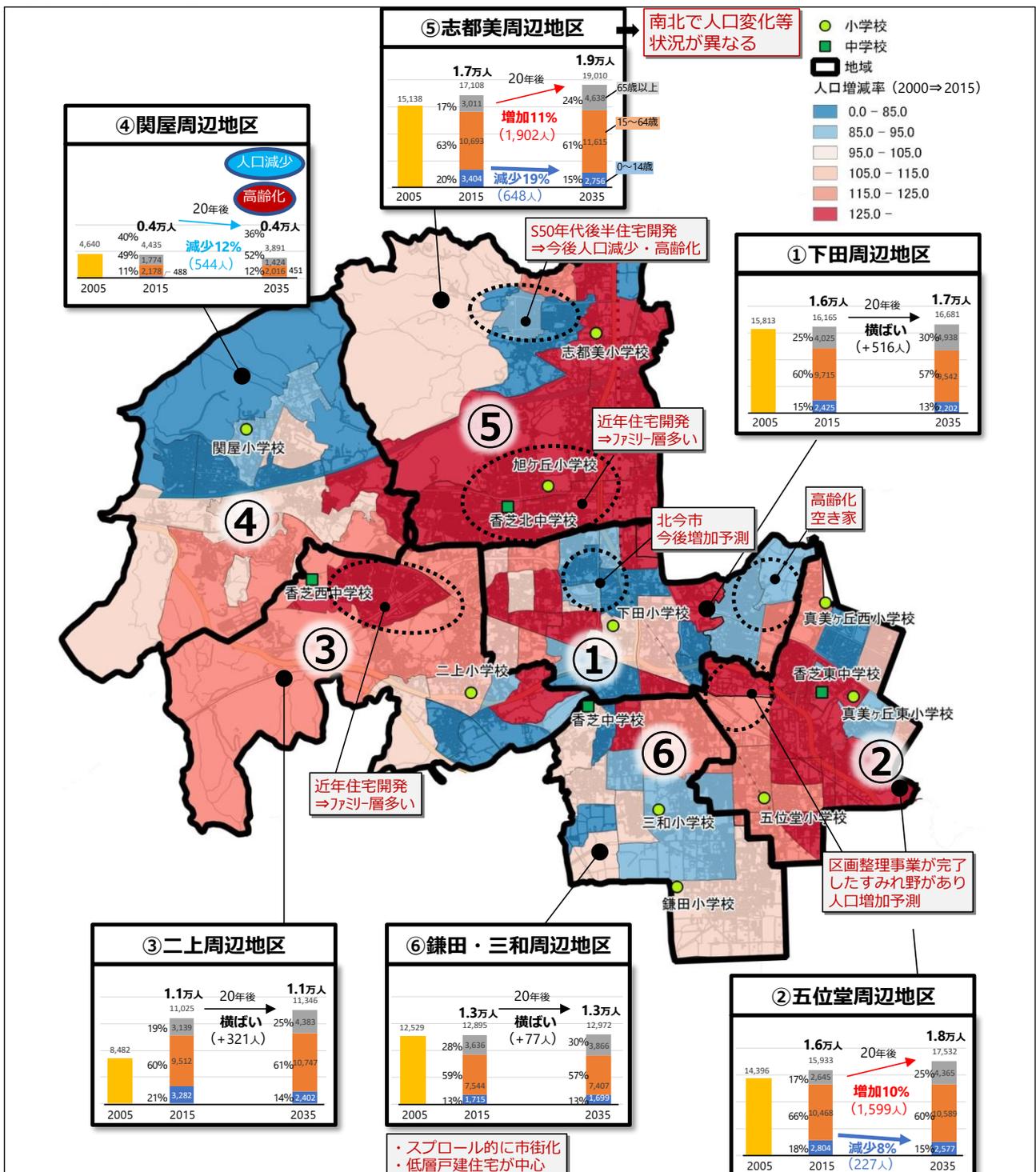


(出典)「都市計画マスタープラン」平成30年3月

(2) 地域別人口状況

地域別の人口状況を見ると、関屋周辺地区ではすでに人口減少が始まっており、今後もさらに減少していく予測となっています。一方、志都美周辺地区や五位堂周辺地区では、住宅開発等に伴い今後も10%以上の増加予測となっていますが、その中でも年少人口は減少予測となっており、同じ地域内でも、すでに人口減少の始まっているエリアもあるなど状況がさまざまであるため、立地する学校についても単体で考えるのではなく、複数校で学校規模や配置について検討する必要があります。

図表 地域別人口状況



(出典)「都市計画マスタープラン」平成30年3月

5. 児童生徒数及び学級数の推移

(1) 小学校、中学校

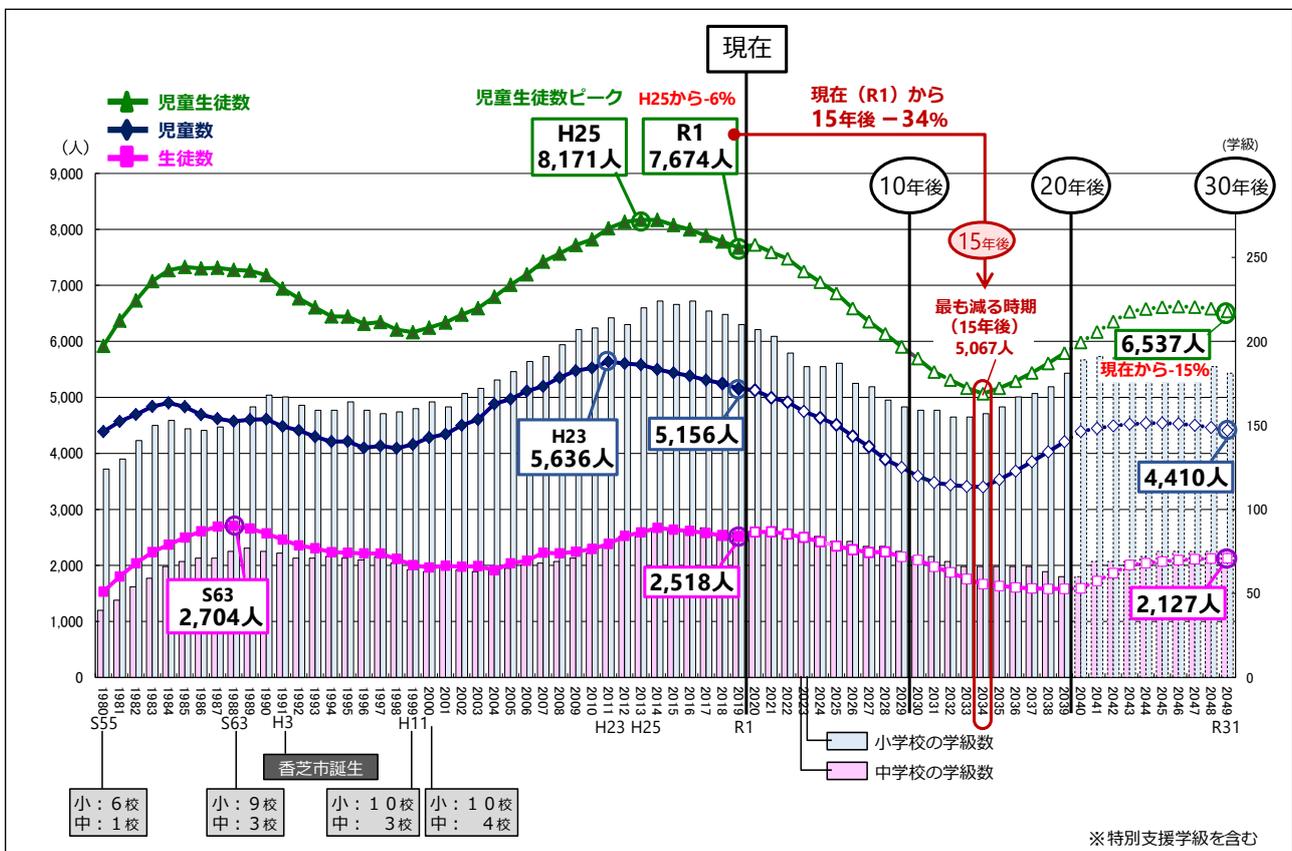
ア 児童生徒数の推移

児童生徒数は、1985(S60)年度に一旦ピークを迎えその後減少しましたが、2000年頃を境に、再び増加傾向となり、2013(H25)年度 8,171 人まで増加しています。

その後、微減となっており、2019(R1)年度時点で 7,674 人となっています。

今後も減少予測となっており、15年後の2034(R16)年度には5,067人（現在から34%減少）となる予測ですが、その後は増加に転じ、30年後の2049(R31)年度には6,537人となる予測です。15年後以降は増加予測となっていますが、今後の開発動向や地域の人口動向等により将来動向は不透明のため、継続的に変化を把握する必要があります。

図表 児童生徒数の推移及び将来予測



<推計方法>

○「国立社会保障・人口問題研究所」『日本の将来推計人口（平成29年7月推計）』に準拠

○児童生徒数

- ・2019年住基人口を基準として、学齢人口を学区・年齢・年度ごとに2049(R31)年度までの30年間、コーホート要因法を用いて推計した。
- ・児童数の算出においては、各学齢人口の公立小学校入学率を100%と仮定した。
- ・生徒数の算出においては、中学校別の公立中学校進学率の平均値を、各学校の学齢人口の進学率と仮定した。

○学級数

- ・学級数の算出においては、児童生徒数から通常の学級数を算出した。特別支援学級数は考慮していない。
- ・学級編制については、小学校では1、2年生は35人学級、3～6年生は40人学級、中学校では各学年40人学級とした。いずれも小数点第1位以下は切り上げた。

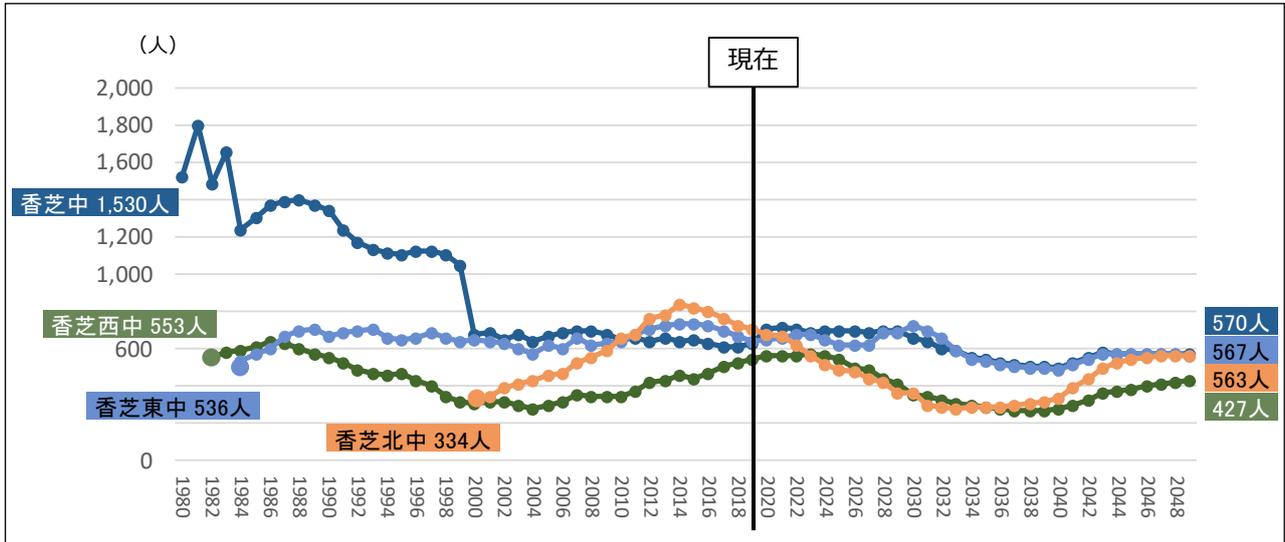
○特別支援

- ・児童生徒数は特別支援児童生徒も含んだ数値となっている。

もともと1校であった香芝中学校は、新設校の開校にあわせて生徒数が変動しています。香芝北中学校は直近まで増加傾向でしたが、現在では減少傾向へと転じています。

将来予測では、香芝中学校・香芝東中学校は当面横ばいで推移する予測ですが、香芝西中学校・香芝北中学校は大幅な減少予測となっています。

図表 中学校別生徒数の推移

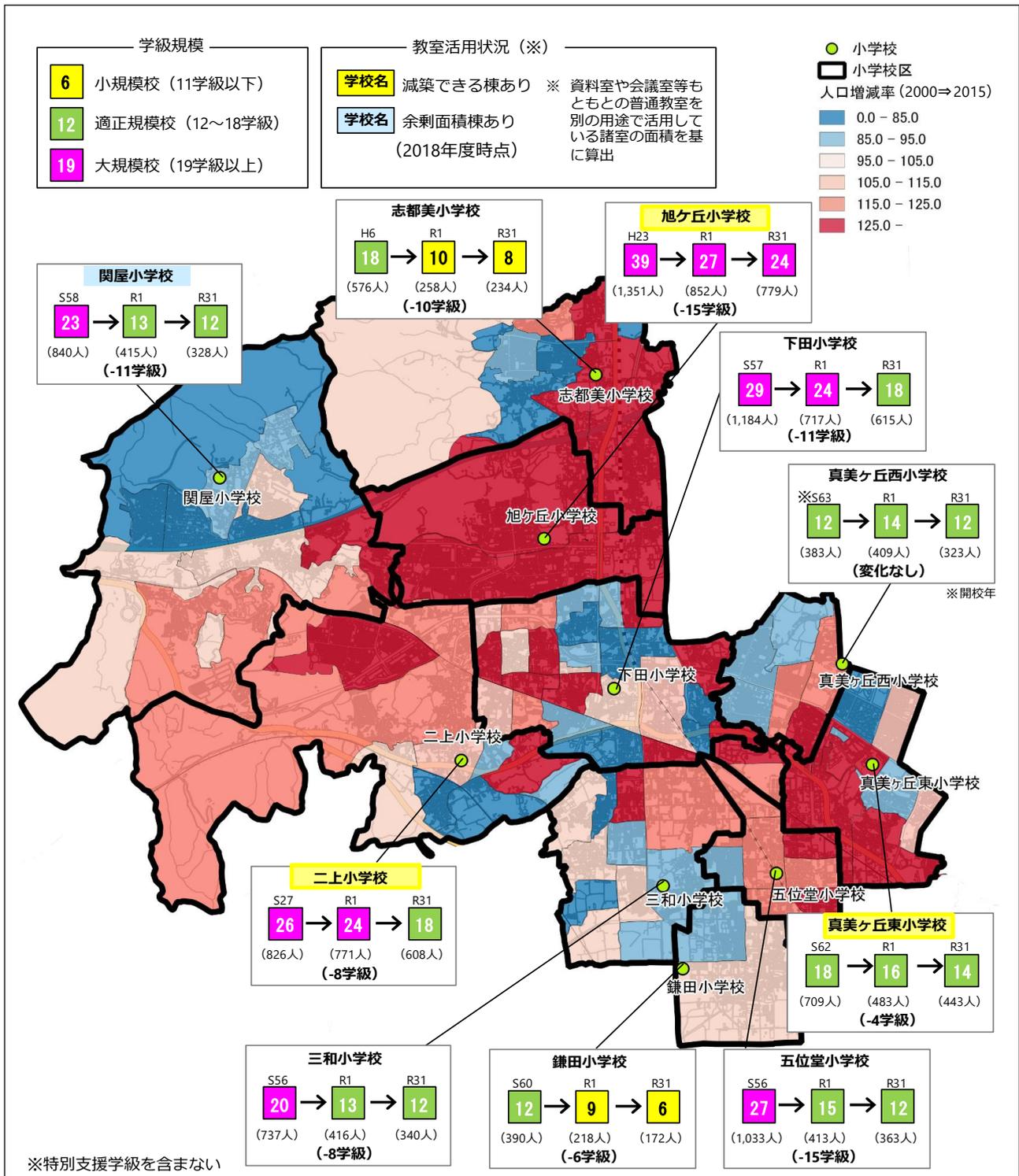


ウ 学校別学級数の変化

<小学校>

学校別のピーク時から2019(R1)年度、さらに30年後(2049(R31)年度)までの学校別学級数の変化をみると、2049年度には10校中2校で小規模校となり、10学級以上の減少が予測されている学校もあり、今後、余裕教室が多く発生することが考えられます。また、ピーク時に多くの教室を整備した学校では、すでに普通教室を資料室等で活用しており、諸室の見直し等により減築が可能と思われる学校が3校あります。

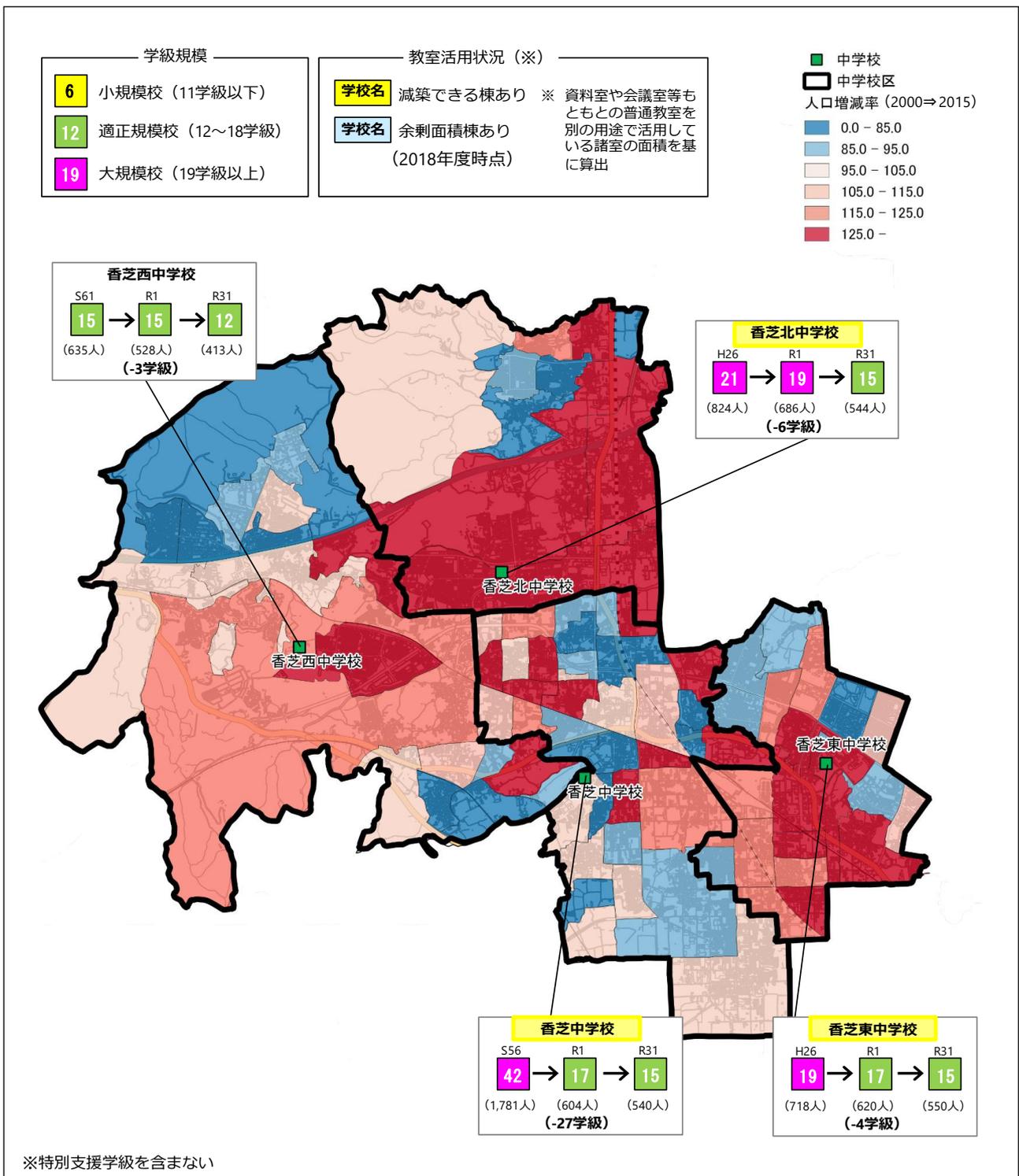
図表 小学校学級数の変化（ピーク時から2049(R31)年度の児童数と学級数の変化）



<中学校>

学校別のピーク時から 2019(R1)年度、さらに 30 年後（2049(R31)年度）までの学校別学級数の変化をみると、香芝中学校で 27 学級の減少が予測されており、すでに、余裕教室が多く発生していることが考えられます。また、また、ピーク時に多くの教室を整備した学校では、すでに普通教室を資料室等で活用しており、諸室の見直し等により減築が可能と思われる学校が 3 校あります。

図表 中学校学級数の変化（ピーク時から 2049(R31)年度の生徒数と学級数の変化）



(2) 幼稚園・こども園、保育所

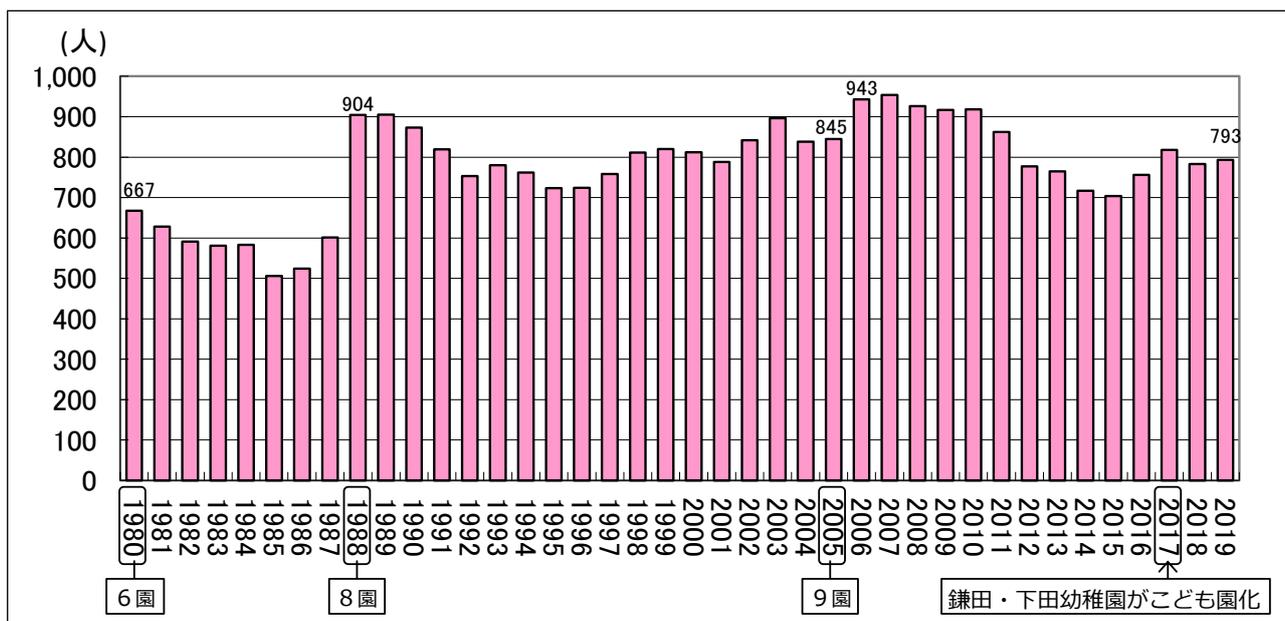
ア 園児数の推移

＜幼稚園・こども園＞

幼稚園・こども園の園児数は、1980(S55)年度 667 人（6園）から 2019(R1)年度の 793 人（9園）まで、年度ごとの増減はありながら推移しています。

2019(R1)年度の充足率は、定員 1,316 人に対して園児数 793 人で 60%となっています。

図表 幼稚園・こども園 園児数の推移



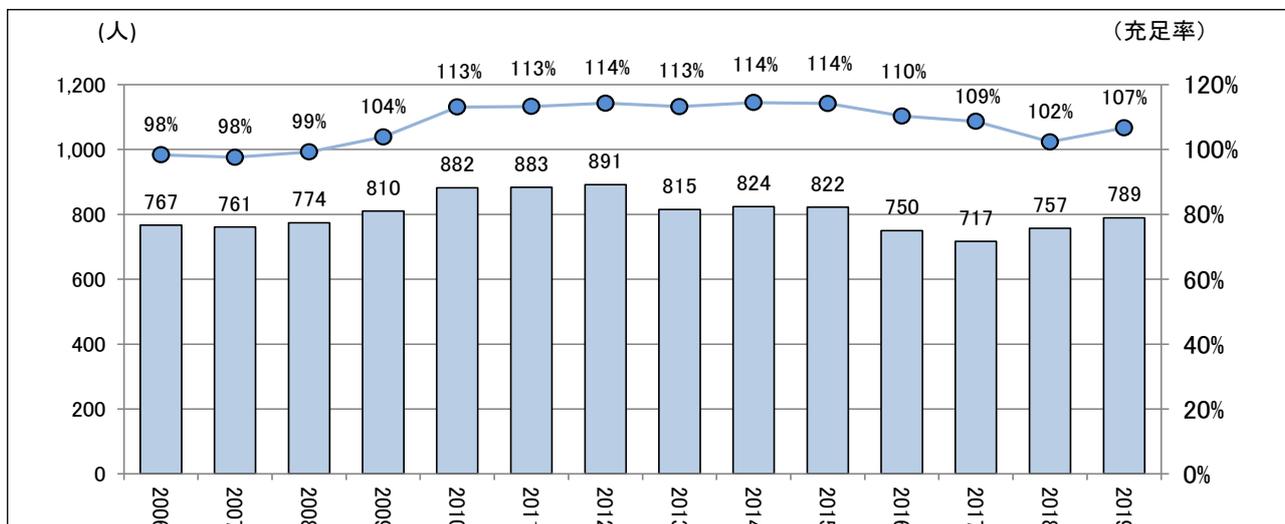
(出典) 1980～2019：「園児・児童・生徒数一覧表」より

＜保育所＞

保育所の園児数は、直近約 10 年間は 710 人から 900 人の間で推移しています。

充足率は、2009(H21)年度以降 100%以上で推移しており、2019(R1)年度では 107%となっています。

図表 保育所 園児数の推移



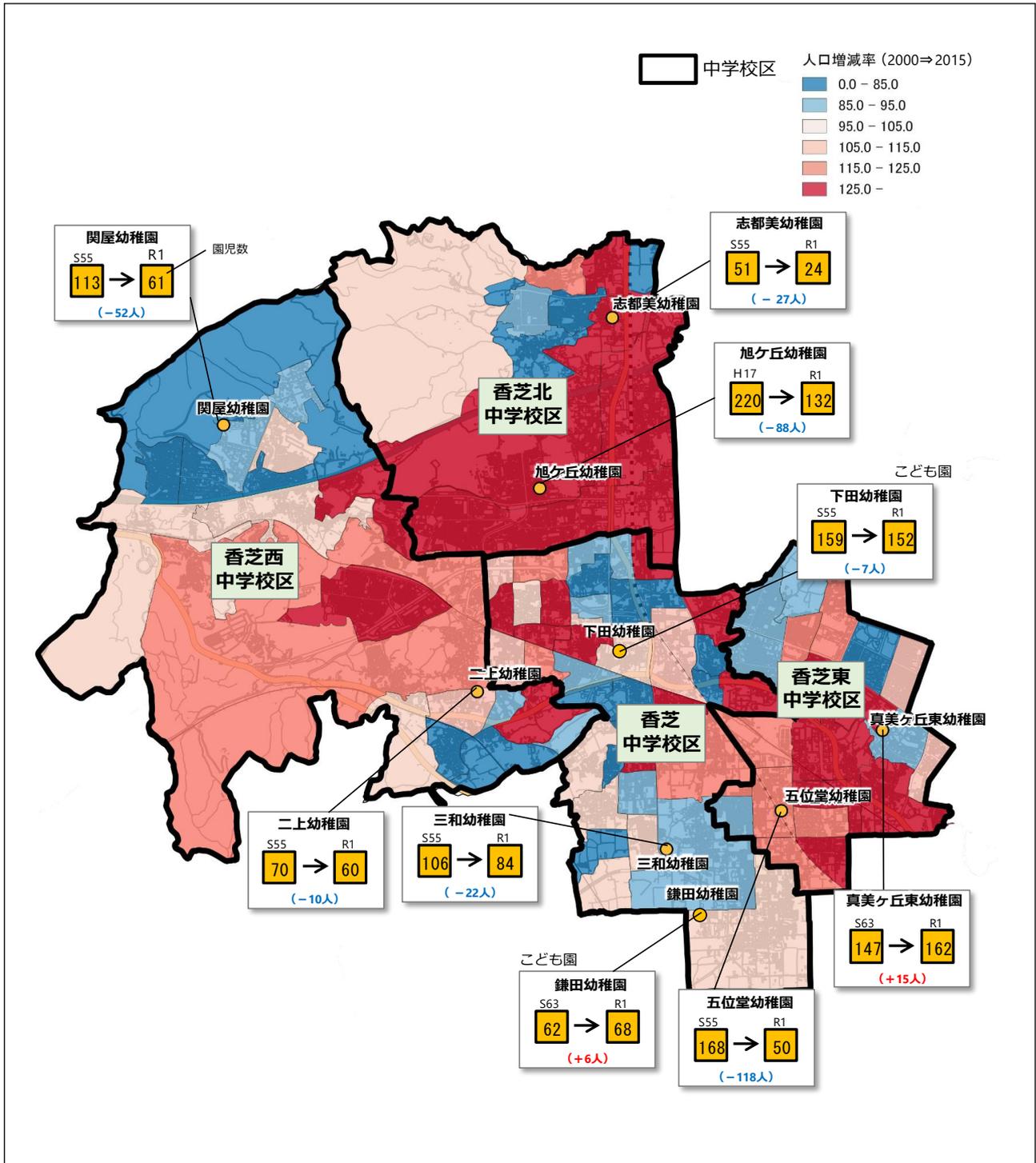
(出典) 1980～2019：「園児・児童・生徒数一覧表」より

イ 施設別園児数の変化

<幼稚園・こども園>

施設別園児数の変化をみると、真美ヶ丘東幼稚園と認定こども園化した鎌田幼稚園で増加していますが、保育ニーズの変化により、その他の施設では長期的に減少する予測となっています。

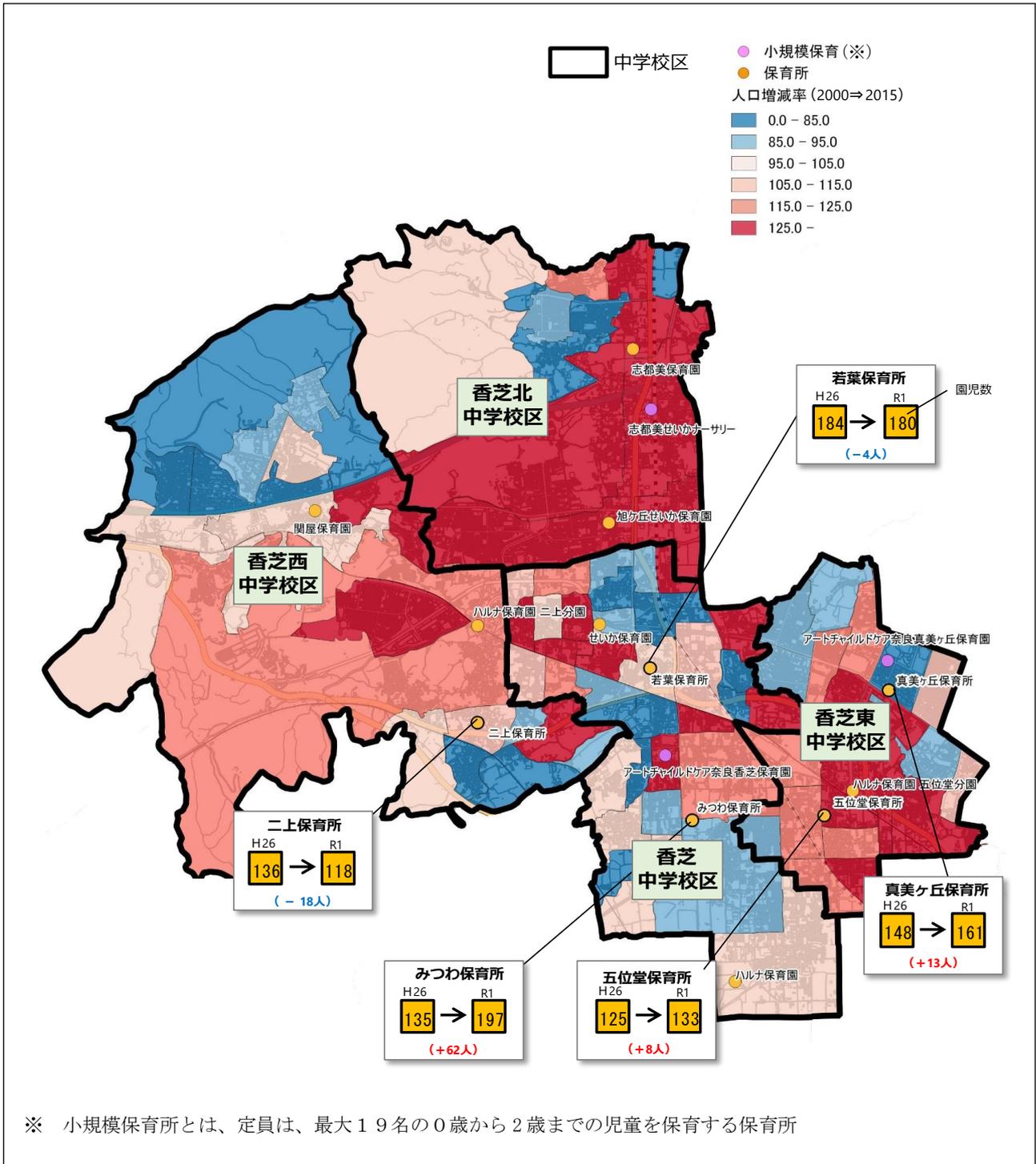
図表 幼稚園・こども園園児数の変化



<保育所>

施設別園児数の変化をみると、みつわ、五位堂、真美ヶ丘保育所で増加しており、その他施設も定員を超えて推移しており、当面は保育所としてのニーズが高いと見込まれています。

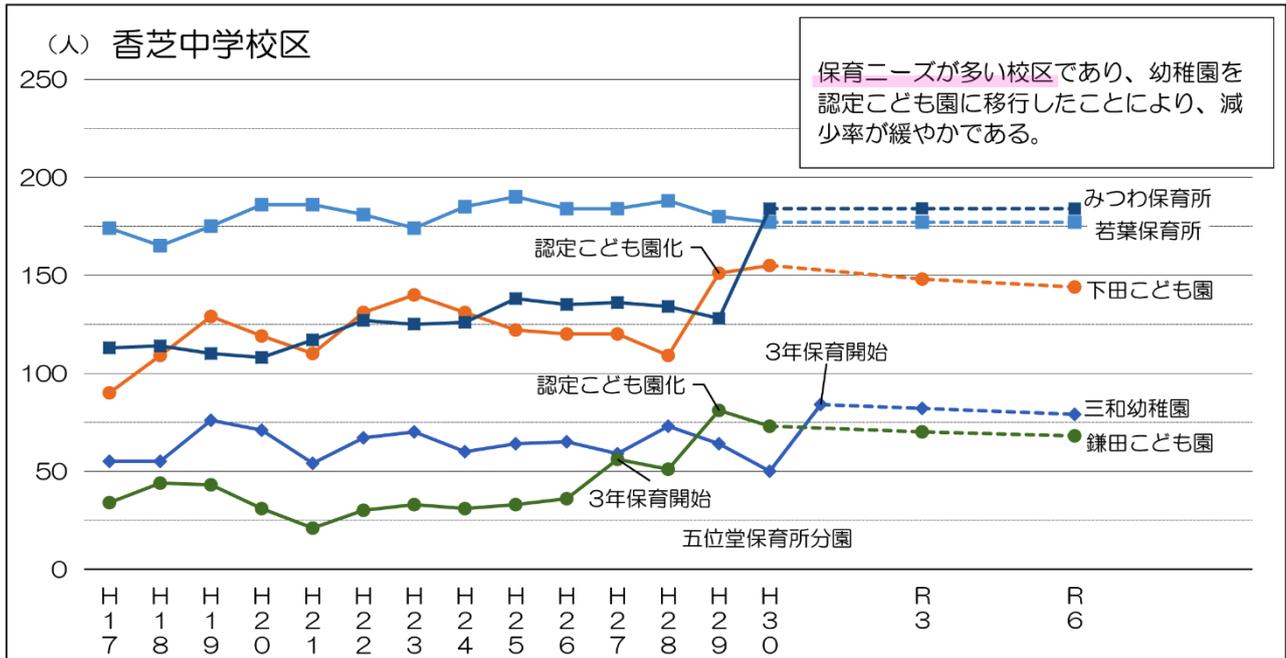
図表 保育所園児数の変化



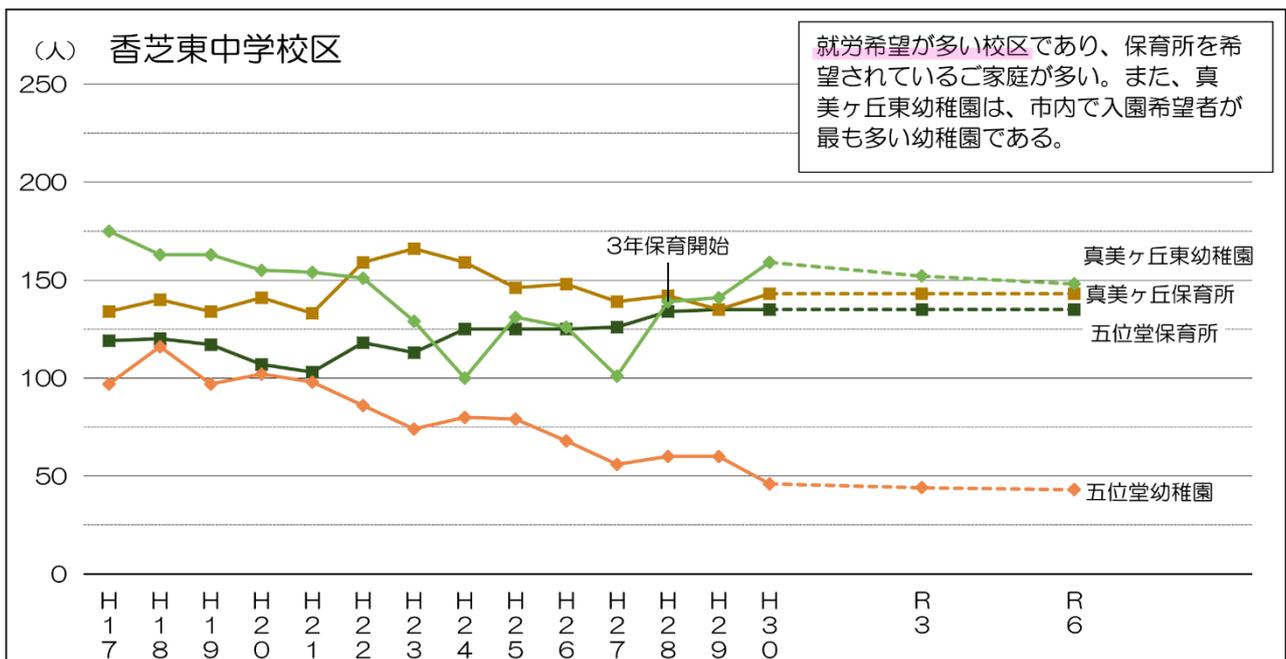
ウ 施設別在籍園児数の推移と今後の見込み

これまで、待機児童対策として、みつわ保育所の建替えや市立幼稚園の余裕教室を利用した保育所分園の開設、小規模保育の連携施設として市立幼稚園の認定こども園化等を実施するとともに民間施設とも協力し、全体的な量の確保にも努めてきました。

図表 中学校区別園児数の変化と今後の見込み

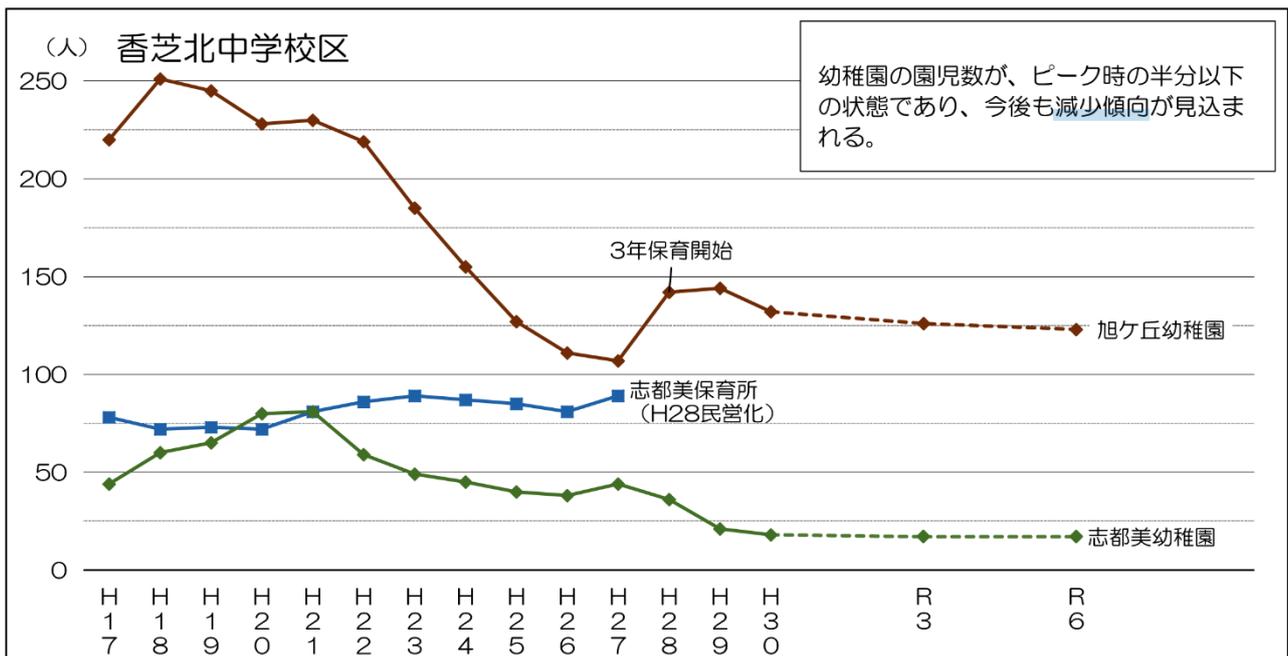
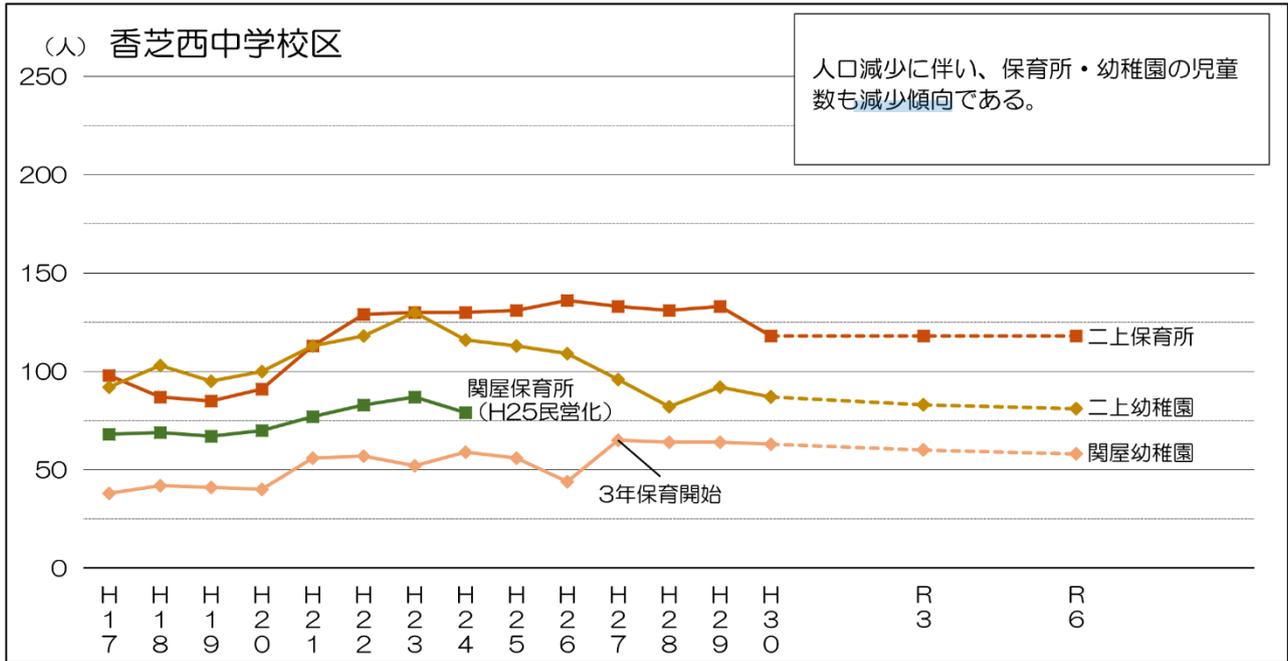


※認定こども園下田幼稚園は、下田こども園と表記する。
 ※認定こども園鎌田幼稚園は、鎌田こども園と表記する。



また、市立幼稚園への希望者の減少が見られる一方で、幼稚園での3年保育や預かり保育等の希望も多いことから、保護者の保育ニーズを捉え教育・保育の両方の機能を兼ね備えた認定こども園化の推進が、必要と見込まれます。

図表 中学校区別園児数の変化と今後の見込み



(出典) 「公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針 (令和元年7月)」より

6. 建物の保有状況

(1) 保有状況

校舎及びそれに付帯する全ての施設（屋内運動場、武道場、給食室等）をまとめました。

施設別にみると、延床面積が小学校約 5.7 万㎡、中学校約 3.9 万㎡、幼稚園・こども園約 0.9 万㎡、保育所約 0.5 万㎡、総合計は約 10.9 万㎡で、このうち小学校が約 52%を占めます。

図表 保有状況一覧表

施設	建物タイプ	棟数	延床面積 (㎡)	割合	1校あたり棟数(棟)	1校あたり面積 (㎡)
小学校 (10校)	校舎	41	46,873	43%	4.1	4,687
	屋内運動場	11	8,250	8%	1.1	825
	その他	18	1,605	1%	1.8	160
	小計	70	56,728	52%	7.0	5,673
中学校 (4校)	校舎	17	29,994	27%	4.3	7,498
	屋内運動場	6	7,308	7%	1.5	1,827
	その他	10	1,202	1%	2.5	300
	小計	33	38,504	35%	8.3	9,626
幼稚園 (9園)	園舎	11	8,688	8%	1.2	965
	小計	11	8,688	8%	1.2	965
保育所 (5施設)	園舎	9	5,190	5%	1.8	1,038
	小計	9	5,190	5%	1.8	1,038
総合計		123	109,110	100%		

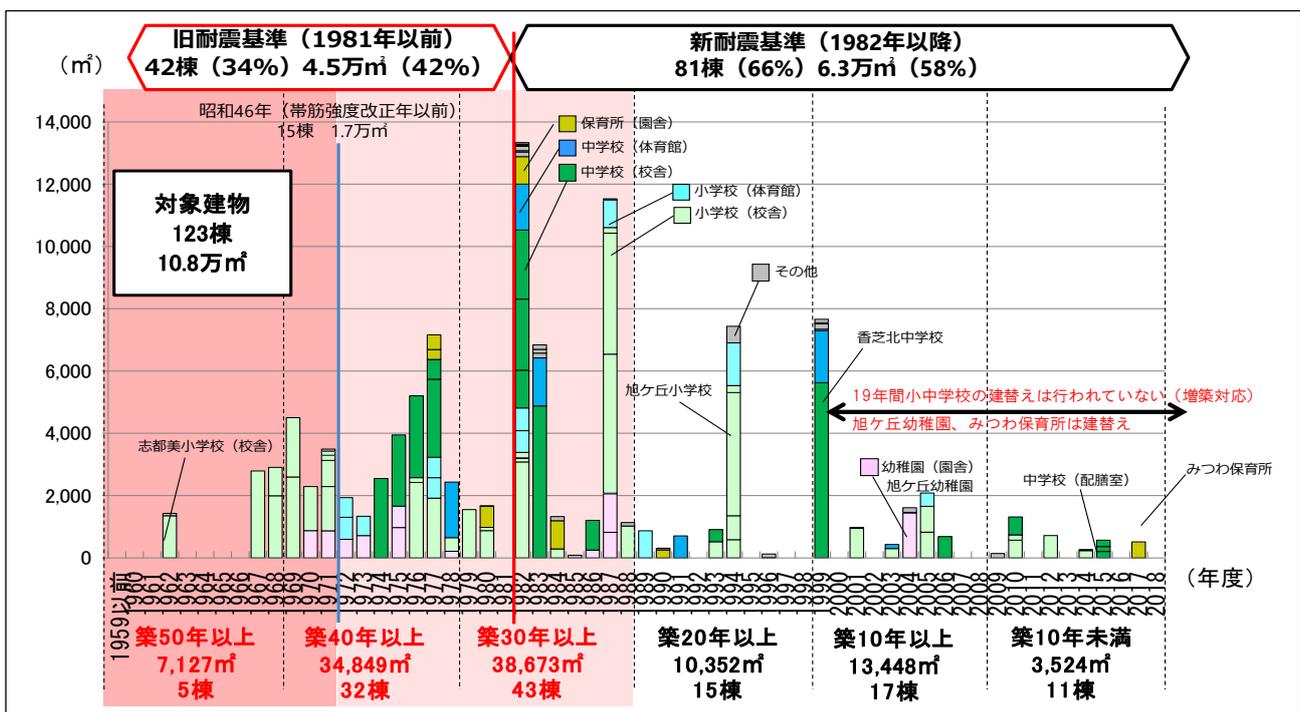
(2) 築年別整備状況

旧耐震基準の建物が 42 棟 4.5 万㎡（延床面積で 42%）、築 30 年以上の建物は、80 棟 8.1 万㎡（延床面積で 75%）となっています。

旧耐震時の校舎と比較すると、新耐震基準時の校舎は規模が大きくなっています。また、児童生徒数の増加に伴い、小規模な校舎の増築も行っています。近年は、中学校の給食センター化に伴い、配膳室を整備しています。

最も古い学校は、志都美小学校の校舎が、築 57 年となっています。

図表 築年別整備状況



7. 老朽化状況の把握

(1) 構造躯体の健全性

施設を長く利用するには、躯体が健全でなければなりません。そのため躯体の健全性については、既存の耐震診断報告書のデータによる評価と、2015(H27)年度に実施した目視調査結果から把握しています。

ア 既存の耐震診断報告書のデータによる評価

耐震診断時のデータによりコンクリート圧縮強度が13.5N/mm²以下となった建物は、「要調査」とし、長寿命化の改修工事を実施する前には詳細な調査を実施し長寿命化の検討を行います。

イ 目視調査による評価

目視調査の結果、老朽化により補修が必要な箇所はありますが、全体として、構造的に大きな問題のある棟はないと考えられます。

ただし、躯体に影響を及ぼす事象には適正な処置を施し、劣化の進行を抑える必要があります。

ウ 構造躯体の健全性調査まとめ

学校施設の耐震安全性は2015(H27)年度の補強工事の完了により、全ての安全性が確保されています。

耐震診断報告書データ及び目視調査の結果から、学校施設等の診断結果、新耐震基準の対象建物は計画策定段階においては長寿命化可能と判断します。

ただし、圧縮強度が低い校舎については、長寿命化に向かない可能性があるため、改修等を検討する際には、改めて調査を実施します。また、診断データの無い建物（鉄骨造）についても詳細調査を行います。

(2) 構造躯体以外の老朽化状況評価

構造躯体以外に計画的な修繕が必要と考えられる部位（屋上防水・外壁・外部建具・内装・電気・給排水・空調・昇降機など）を選定し、施設管理者による調査票や、法定点検及び目視調査から、棟ごとに評価付けを行っています。評価は、「香芝市公共施設保全計画（H29年3月）」時の評価を基本として、その後実施した改修工事や、設備機器については設置・更新年からの経過年数により、最終的に評価を見直しています。また、本計画策定にあたり、新たにユニバーサルデザインの導入状況とトイレ改修の実施状況を調査しました。各棟の状況を把握することで、傾向をつかみ、計画策定に向けた施設整備の方針や今後の整備費用の検討についての基礎資料とします。

ア 老朽化状況の評価

構造躯体以外の各部位の老朽化状況はA～Dの4段階で評価します。（P21表1参照）
設備については、目視だけでは十分な評価とならないので、設置年・更新年からの経年を考慮しA～Cの3段階で評価します。（P21表2・3参照）

表1 劣化状況評価基準

		基準	経過年数による目安
良好  劣化	A	概ね良好	標準耐用年数※の半分以上
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	標準耐用年数以内
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合の兆し）	標準耐用年数を超過
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の健全性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）	著しい劣化事象がある場合

※ 標準耐用年数とは、各部位の一般的な仕様による耐用年数をベースに設定
（参考：保全センターデータベース 平成17年度版）

表2 経年による評価（設備）

評価基準	
A	更新後10年以内
B	標準周期（※下表）年数未満
C	標準周期（※下表）年数以上

表3 標準周期

	NO.	対象部位	評価項目	標準周期
棟	①	電気設備	照明・自火報・非常放送	20年
	②	給水設備	給水管	40年
	③	排水設備	排水管	40年
	④	空調設備	機器（教室・管理諸室）	20年
	⑤	その他設備	給食リフト、循環装置（プール）	20年
	⑥	プール	プール槽	20年
	⑦	エレベーター	乗用エレベーター	30年
共用	⑧	給水装置	水槽、ポンプ	20年
	⑨	受変電設備	キュービクル	30年
	⑩	グラウンド	グラウンド	30年

イ 部位ごとの老朽化

校舎は屋根・屋上のアスファルト保護防水から改修され、塗膜防水、シート防水が施工後20年以上経過し、老朽化が進んでいます。近年の屋上改修により、比較的良好な建物が半数を占めていますが、外壁は、屋上と比較すると老朽化が進んでおり、コンクリートにひび割れ等の劣化がある場合は躯体補修を実施する必要があります。手すりや配管カバー等の鉄部の発錆が進行し、改修が必要な状況です。

内部はただちに改修が必要な状態ではありませんが、これまで大規模な改修を行っておらず、壁のひび割れや床の摩耗等の老朽化と、木製の間仕切りや、ガラス戸など安全を

考慮した改修が必要な棟もあります。

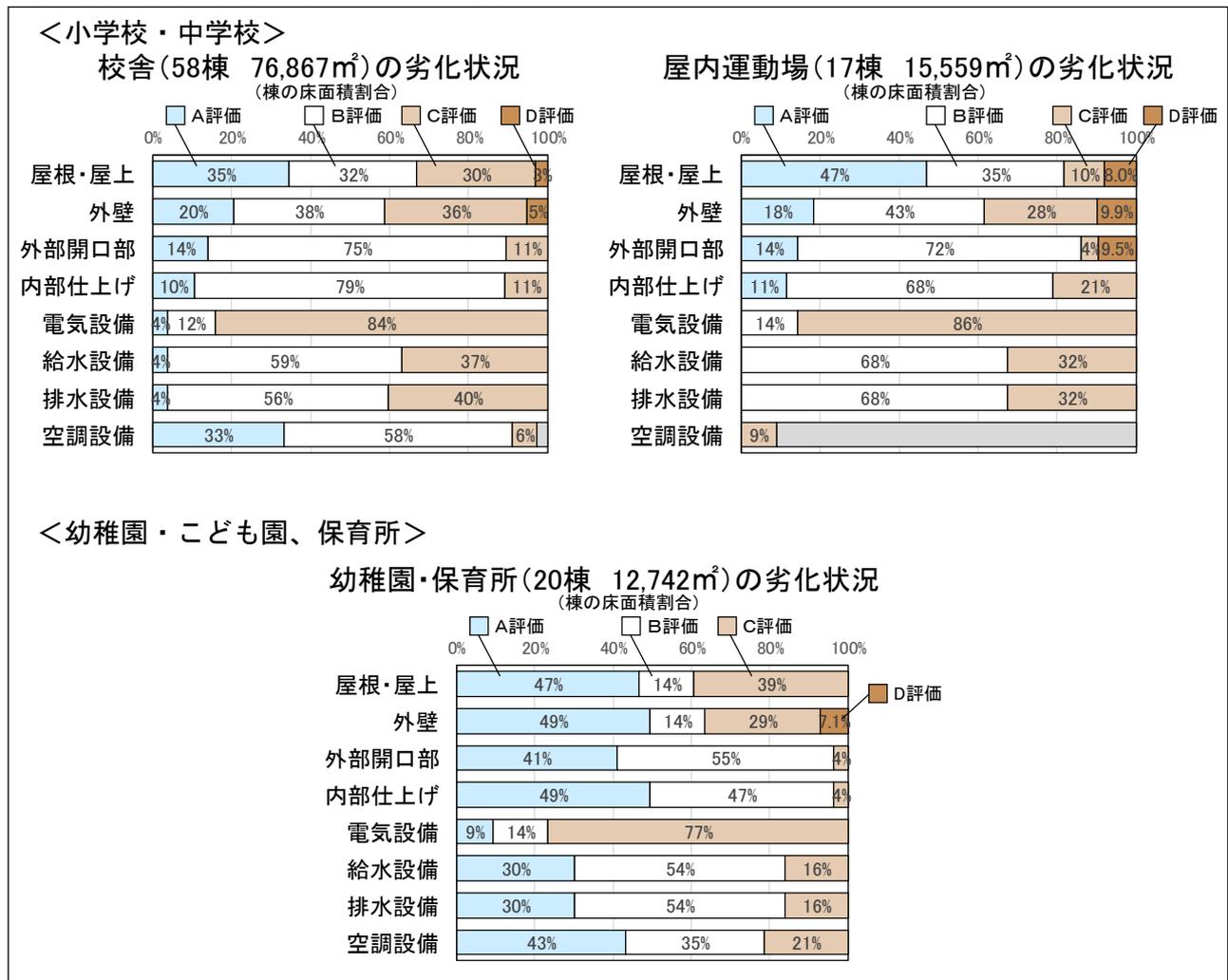
また、設備については、受水槽や配管といった給排水設備や電気設備の老朽化に伴い、全面的な更新が必要になっています。

屋内運動場は、一部の学校で外部の老朽化が見られました。また、内部は、床や内壁への改修を実施していない学校は、老朽化によるケガの防止のため今後改修が必要になります。

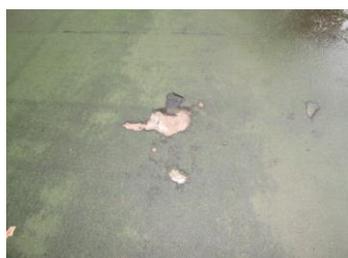
幼稚園の園舎は、認定こども園化の改修を行っており比較的良好ですが、電気設備等の老朽化が進行しています。保育所の園舎は、2017(H29)年度に建設されたみつわ保育所以外は、築30年以上経過しています。

空調設備については、2019(R1)年5月に全面設置し、6月より使用を開始していますが、既設の設備は老朽化が進行しています。

図表 調査結果の概要（校舎・屋内運動場）



<主な劣化状況>



屋上防水シートに剥がれ・穴あきが見られる。早急な処置が必要。露出防水のため、適正な時期に改修する必要がある。



屋上防水シートに表面の摩耗劣化が見られる。



屋内運動場等の金属屋根面に発錆が見られる。腐食が進行すると、雨漏りし、屋根の葺き替えが必要となる。



外壁の柱部に鉄筋に沿ってコンクリートの剥離が見られる。落下すると危険なため、早急な処置が必要。



外壁にひび割れや、塗装の剥離が見られる。漏水や、コンクリート強度に影響が出るため早急な処置が必要。



外壁のモルタルが剥落している。児童・生徒がケガをする恐れがあるため、早急な処置が必要。児童・生徒が近づかないような対処が必要。



外部鉄骨階段は発錆が進行。放置すると危険であり、避難時に使用できない可能性もある。



床の長尺シートがひび割れている。段差等により、児童・生徒がケガをする恐れがある。



配管カバーが発錆により破損している。

ウ 構造躯体以外の老朽化状況まとめ

校舎・園舎では、屋根・屋上、外壁について老朽化が進行している棟が多く、改修が必要です。長寿命化改修の際には内部も含めた改修を行い、古い仕様・設備の更新や間仕切りなども含めた老朽化の対応が必要となります。しかし、残りの使用年数によっては大規模な改修に利点がないことも考えられるため、建替えとの整備費用の比較により今後の方向性を判断する必要があります。

屋内運動場なども同様に、内部も含めた経年の劣化対応、古い設備の更新が必要となります。

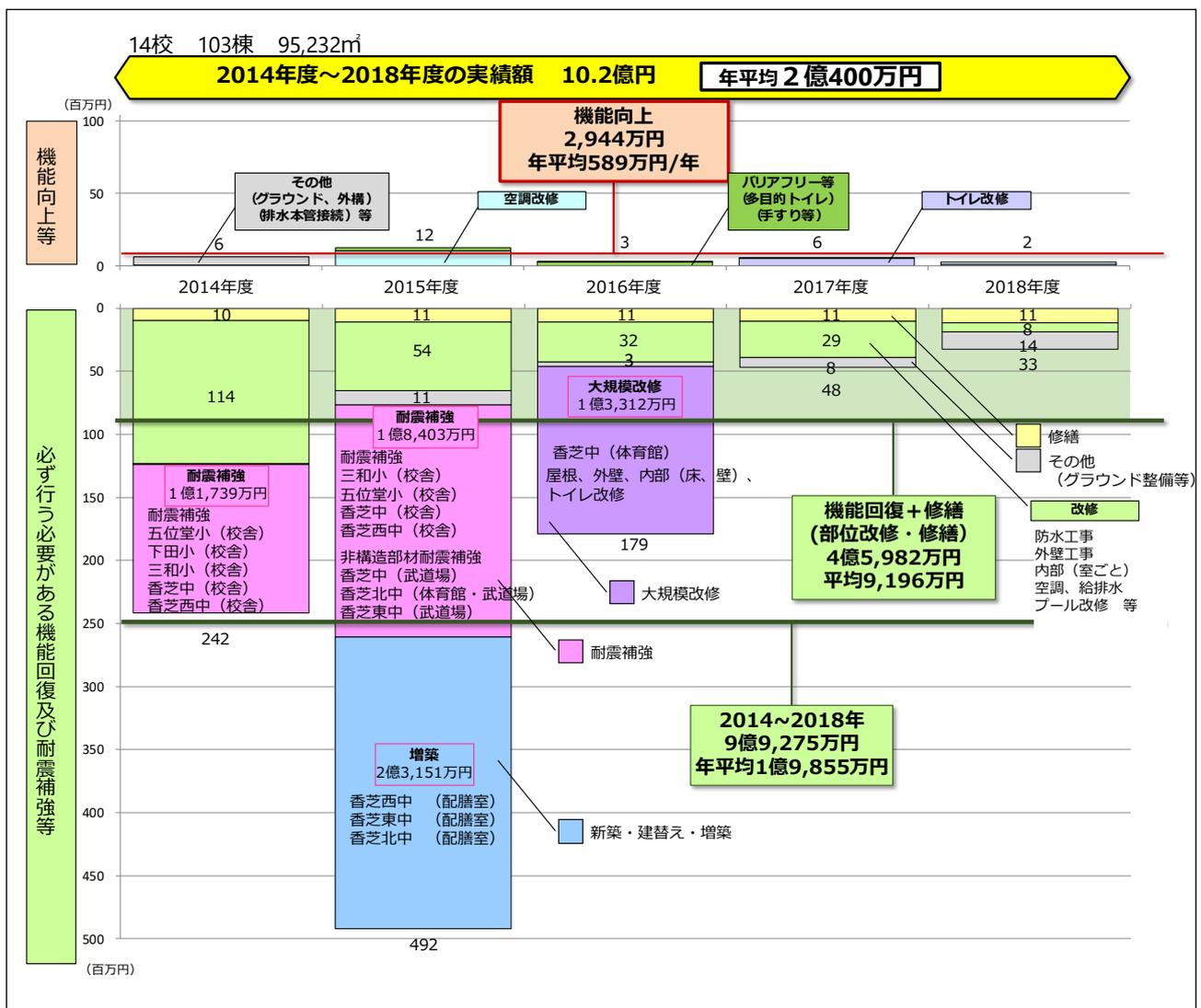
8. 施設関連経費及び将来施設経費の推移

(1) 施設関連経費の推移

ア 小学校、中学校

2014(H26)年度～2018(H30)年度の5年間の施設関連経費は、総額 10.2 億円、年平均 2.0 億円となっています。耐震補強、増築の必要コストに 5.3 億円（52%）、大規模改修・改修・修繕等の機能回復に 4.6 億円（45%）となっており、バリアフリー化対応等の機能向上分は 0.3 億円（3%）となっています。これまでの5年間では、主にトイレ改修（年平均 130 万円）、空調改修（年平均 235 万円）、バリアフリー化等（年平均 100 万円）を行っています。

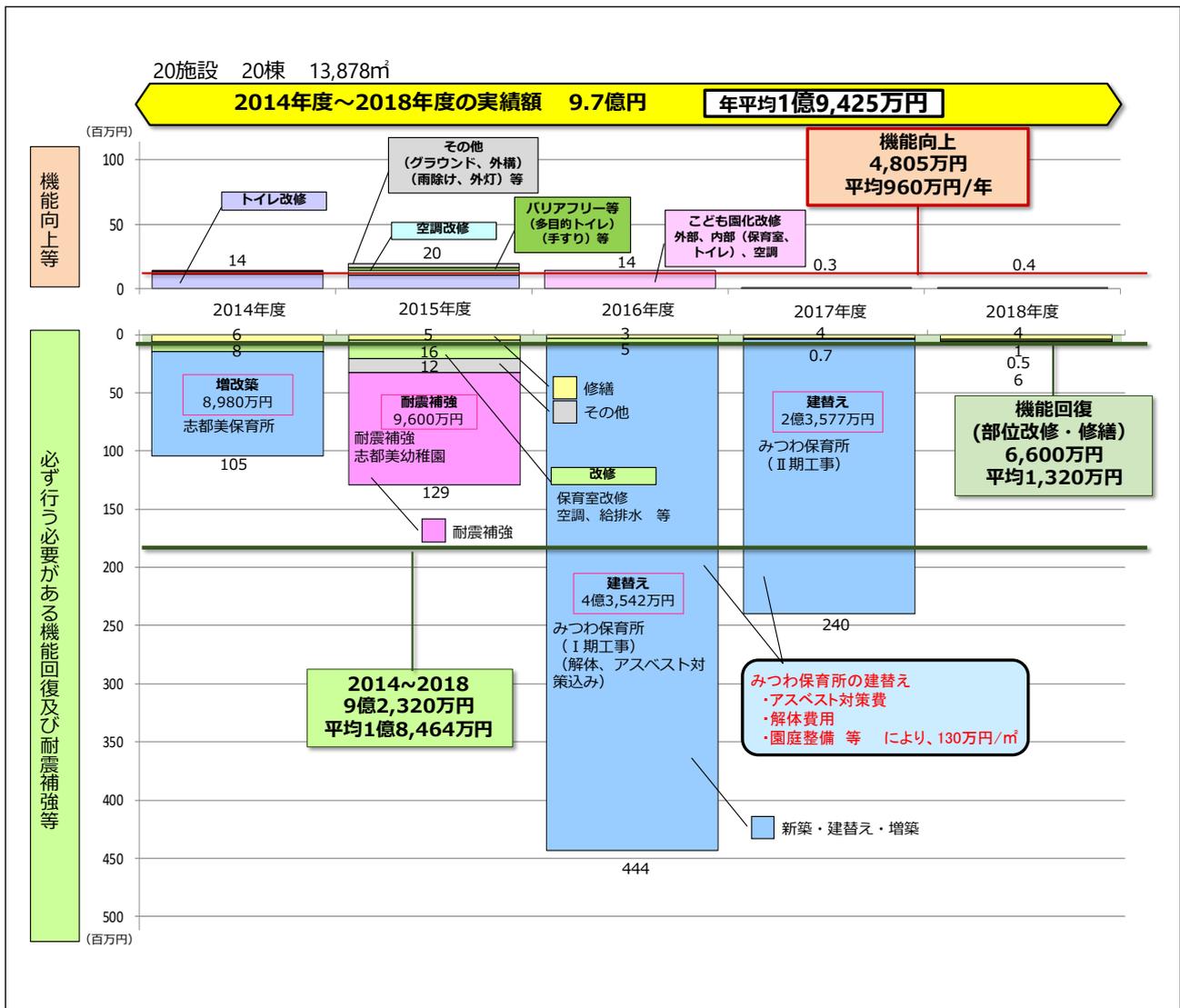
図表 過去5年間の施設関連経費の推移



イ 幼稚園・こども園、保育所

2014(H26)年度～2018(H30)年度の5年間の施設関連経費は、総額 9.7 億円、年平均 1.9 億円となっています。みつわ保育所の建替えに 6.7 億円（69%）、耐震補強・増改築に 1.9 億円（20%）、改修・修繕の機能回復に 0.7 億円（7%）、機能向上は 5% 程度となっています。これまでの5年間では、主にトイレ改修（年平均 438 万円）、空調改修（年平均 125 万円）、バリアフリー化等（年平均 42 万円）を行っています。

図表 過去5年間の施設関連経費の推移

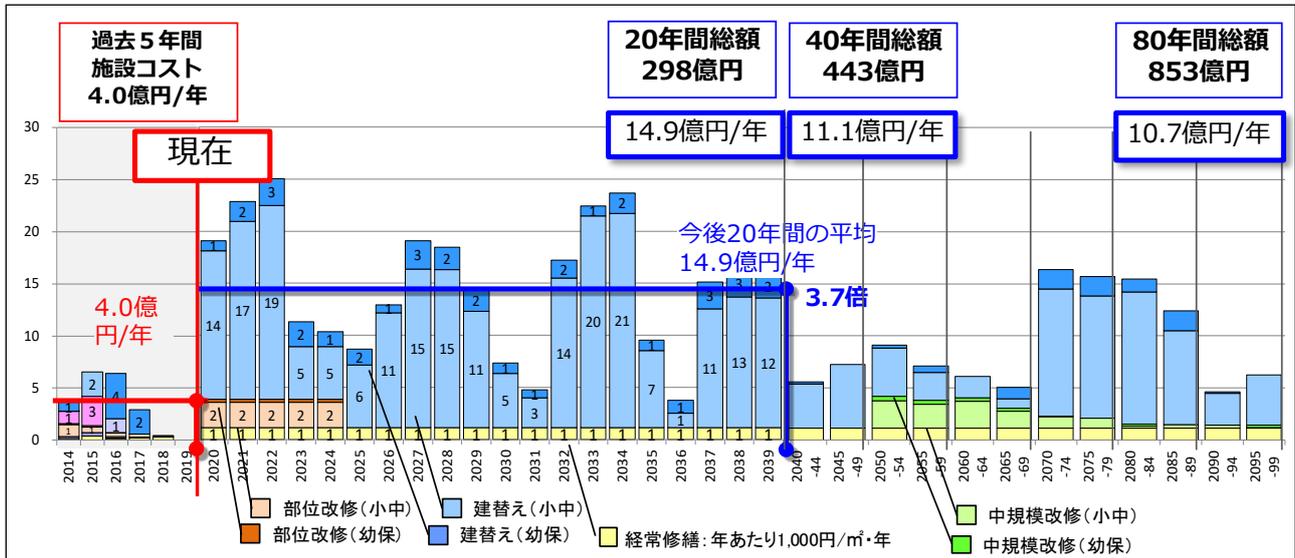


(2) 将来更新費用の推計

ア 建替え型

建築後 50 年で建替えを行う条件で試算した場合、40 年間で総額 443 億円・年平均 11.1 億円/年、20 年間で総額 298 億円・年平均 14.9 億円/年で、過去の施設関連経費 4.0 億円/年と比較して 3.7 倍の差となります。

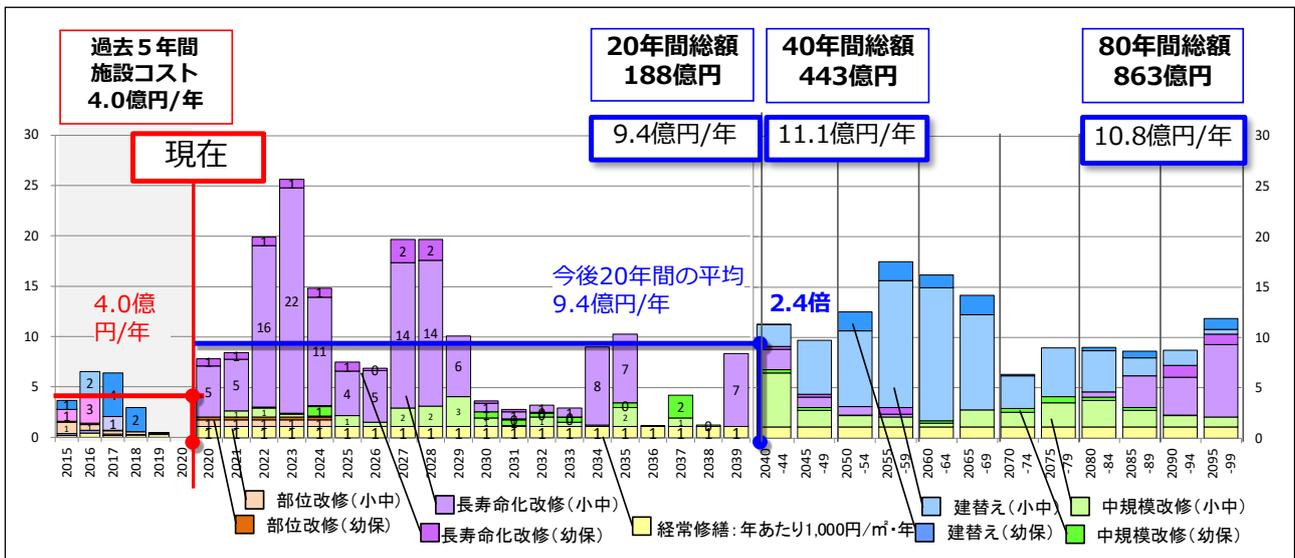
図表 建替え型の試算結果（今ある建物を 50 年で建替えた場合）



イ 長寿命化型

建物の目標使用年数を延ばすため、「全ての棟で建築後 40 年で長寿命化改修（老朽化対策）を行い、築 80 年まで使用する」と仮定すると、長寿命化改修の時期を同時に迎えるため、直近に多くの整備費用が必要になります。全ての建物を長寿命化していくと将来的には同時に建替え時期の集中を迎えることになり、再び多くの整備費用が必要になります。

図表 長寿命化型の試算結果（建築後 40 年で長寿命化改修をした場合）



今後は、予算の縮減・平準化のため、老朽化状況等をもとに建物の整備の方向性を分類分けし、効率的な施設整備を実現する必要があります。

第3章 学校施設等整備方針

1. 目指すべき姿

本市で目標としている0歳から15歳までの切れ目のない総合的な子育て支援体制の構築として、今後とも、小・中学校や幼稚園・こども園、保育所の教育環境整備の推進が必要不可欠となります。また、地域の活動を支えるコミュニティ拠点としての役割や、非常災害時における避難所としての役割など、様々な機能強化が求められています。

こうした状況を踏まえ、以下の視点から、学校施設及び幼稚園・こども園、保育所施設のありべき姿の実現を目指していきます。

(1) 小学校、中学校

ア 小中連携、一貫教育の実現

小学校と中学校では、同じ義務教育課程でも教育活動の方法や考え方、学習環境などで異なる点が多くあります。しかしながら個々の児童生徒の発達に対応した教育を行っていくためには、小学校と中学校の間での連続性や一貫性をもった教育が重要です。

本市では、「0歳から15歳までの切れ目のない総合的な子育て支援」を目標としていることから、家庭や地域とも連携しながら、就学前から義務教育9年間を見通した教育活動を展開することを目指します。また、小学校と中学校が一貫した学習を展開するために有効な学習スペースについて検討し、施設整備を行います。さらに、学校の余裕教室を改修し、幼稚園・こども園、保育所や学童保育室等に転用することで、児童生徒と園児の異なる年齢の交流による思いやりの精神の養成などさまざまな効果が期待できます。

イ 学習空間・生活空間の充実

学校が抱える課題は、児童生徒指導上の課題や特別支援教育の充実など、より複雑化・困難化し、心理や福祉など教育以外の高い専門性が求められるような事案も増えてきています。

障がいのある子ども、不登校の子ども、海外から帰国した子ども、LGBTの子どもなど、多様な教育ニーズに対応するため、特別な配慮を必要とする子どもへの教育を推進します。個々の児童生徒に応じたきめ細かな指導の充実を図り、基礎的な学力の定着を図るため、調べ学習、少人数授業やICT機器の活用など、多様な学習活動に柔軟に対応できる環境づくりを進めます。

また、児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、防犯や施設の安全性に配慮した施設整備を行い、ユニバーサルデザイン化を目指します。

ウ コミュニティ・スクールの推進（地域・家庭との連携）

これからの学校と地域の目指すべき連携・協働の姿として、「開かれた学校づくり」、地域とともにある学校への転換を進めていくことが必要です。

本市では、2017(H29)年度から学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の設置を

進めています。地域ぐるみで子どもたちの義務教育 9 年間の学びを支える仕組みとして、中学校区の複数の学校が連携した教育支援体制を構築することは重要であり、小中一貫教育とコミュニティ・スクールを有機的に組み合わせることで、学校施設が地域の活動拠点となっていくなど、より大きな成果も期待できます。

目指すべき姿の実現にあたっては、児童生徒数の変化に合わせて適正規模化が必要になるため、多様な教育活動の実現に向けて学校再編にも積極的に取り組みます。

(2) 幼稚園・こども園、保育所

令和元年7月に策定した「公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針」において、すべての子どもたちに安心・安全な環境を将来にわたって持続可能なものとするため、小学校区を基本にこども園の設置を進めることとしています。それにより、目指す子ども・子育ての環境として、以下の7点を掲げています。

- ①待機児童を解消
- ②子ども同士が育ちあい、学びあえる集団規模(1学年15名程度)で教育・保育を実施
- ③地域における子育て支援を充実
- ④0歳児から就学前までの子どもの発達過程を踏まえた教育・保育
- ⑤3歳からの教育・保育の環境整備
- ⑥障がいのある子どもの教育・保育
- ⑦地域のセーフティーネットとしての役割

2. 学校施設等整備方針

公共施設等総合管理計画では、施設類型別方針として以下の方針が掲げられています。

<小学校・中学校>

- 学校施設の老朽化に対しては、良好な教育環境の整備に向けて、計画的に長寿命化を図っていく。
- 地域住民にとって一番身近な施設となるように、近接する保育所や幼稚園との連携を強化し、地域の実情に応じた多機能化・複合化を図ることにより、地域の拠点施設として有効的に活用していく。

<保育所・幼稚園>

- 老朽化が進行した保育所・幼稚園の更新は、統合・整理及び民営化の検討とあわせて総合的に取り組む。
- 幼保一元化の取組としてこども園化や、近接する学校との連携強化により、地域の子育て支援に一体的に取り組む。

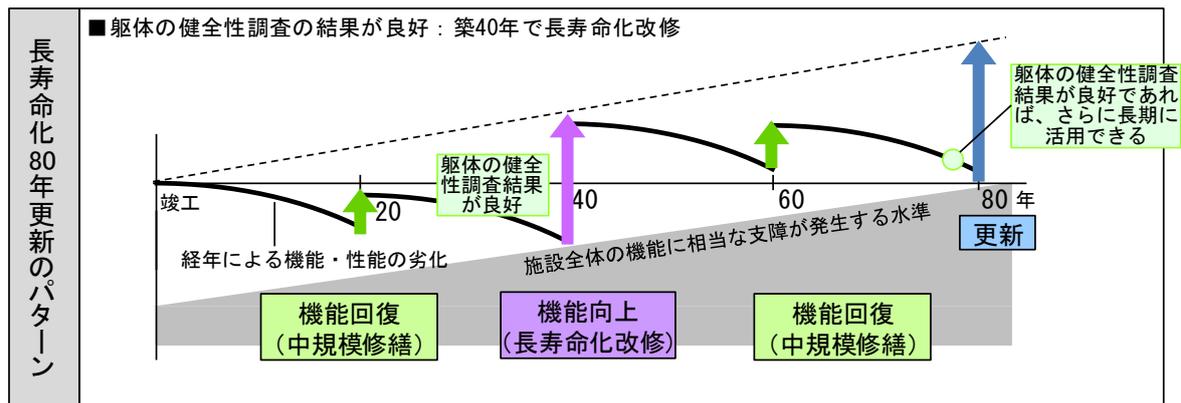
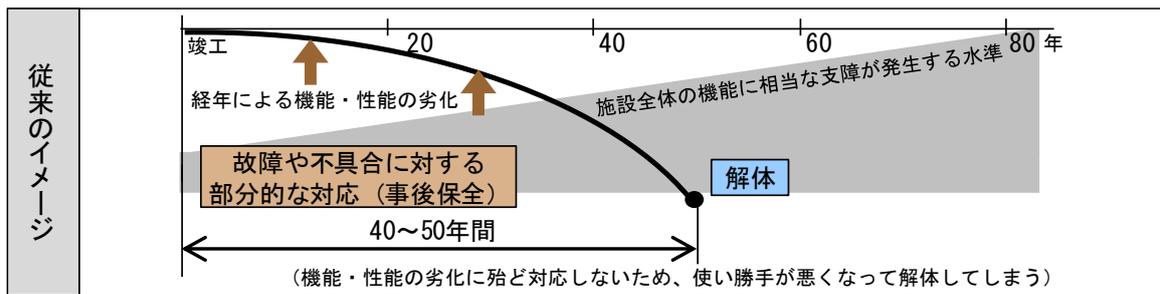
これを踏まえ、今後の学校施設整備は、次の3つの方針に基づき、具体的な取り組みを推進します。

(1) 長寿命化改修／建替えの併用による効率的な施設整備

これまで、不具合が起きてからの対応による事後保全となっており、老朽化や、社会的要求水準による機能の陳腐化によって修繕・改修を行ってきました。

これからは、財政負担の軽減と、集中が予測されるコストの平準化を目的とし、80年又は60年まで長期にわたって建物を使い続けるために、これまでの修繕・改修サイクルを見直し、経年劣化する建物の部位や設備機器などについて築40年目で機能向上のための長寿命化改修を行い、20年ごとには各部分の機能回復のための中規模修繕(20年及び60年)を計画的に行うことで、長期にわたって建物を良好な状態で使用し続けることとします。ただし、躯体の詳細調査で圧縮強度13.5N/mm²以下の校舎や旧耐震基準で建てられた校舎のうち、より基準の古い1971(S46)年以前に建てられた校舎は長寿命化せず、建替えで対応します。

築年数や躯体の健全性、躯体以外の劣化状況やこれまでの改修実績から、長寿命化だけでなく建替えを含めた整備方式を設定し、優先順位をつけて効率的・効果的に整備を実施します。



(2) 教育環境の充実と防災機能強化（ICT機器の充実、バリアフリー化等）

建替えや長寿命化改修時には、多様な情報に触れられるICTを活用した教育に対応可能な普通教室や特別教室を整備するなど、児童生徒が自ら学ぶ授業や多様な学習形態を取り入れやすい環境を整えます。さらに、これからの地域の拠点施設として、子育て関連施設等との複合化についても検討します。複合化等にあたっては、セキュリティなど学校側の負担にならない管理・運営に配慮します。

また、学校は児童生徒だけでなく、地域住民にとっても最も身近な施設であり、地震、台風、豪雨等の災害発生時には、応急避難所となっています。誰もが利用しやすいよう、バリアフリー化はもとより、避難時に必要なスペースや設備等機能整備など、防災機能の強化も推進します。

幼稚園・こども園、保育所についても、築30年を経過した建物が大半であり老朽化が進行している状況ですが、再編を進める過程においては、園児が快適に過ごせるよう、教育環境・生活環境の向上を図ります。

(3) 適正規模・適正配置と連動した学校施設整備の推進

これまで、児童生徒数の増加にあわせて整備された学校では、現在は普通教室を他の目的で活用するなど、余裕教室を保有している学校が見られます。児童生徒数や園児数の予測など地域の実情に応じ、すでに余裕教室のある学校については、余裕教室の他用途への転用又は減築を実施します。

また、小規模校化が進行する学校や幼稚園等について、将来的には適正規模・適正配置による隣接校との集約化（統合）や小中一貫教育など、学校規模や教育環境の適正化に向けた検討を優先的に進めます。

3. 施設整備の水準

施設整備にあたっては、設定した改修メニューから算出した改修費用と市の財源を勘案した上で、改修内容を設定します。外部については屋上防水・外壁の改修、サッシの交換など標準化（整備レベル）メンテもしやすい効率化を行います。内部については全体的な改修や給排水設備の更新に加え、環境にも配慮した省エネルギー化についても考慮します。

図表 今後の整備レベル

工種	I	III	IV	V
	部位改修 (15年～20年周期)	中規模修繕 (大規模改造)	長寿命化改修	改築
屋根 屋上	露出防水 (既存の上)	露出防水 (既存の上)	露出防水	露出防水
外壁	外壁塗装	外壁塗装	防水型複層塗材	防水型複層塗材
主要な 設備機器 の更新	主要設備機器の更新 (受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機)	主要設備機器の更新 (受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機)	主要設備機器の更新 (受変電設備・高架水槽 空調機・プールろ過機) 配線・配管の更新	受変電設備・高架水槽 空調機・空調・昇降機 ・LED照明
機能回復 不具合への対応		劣化部位全体の修繕	劣化部位全体の修繕 躯体補修 (ひび割れ等の補修)	
外部 開口部		シーリング打替え 開閉調整程度	サッシ交換 (強化ガラス)	強化ガラス
内部	II 単独改修 (機能向上)	一部の内壁・天井の 修繕	教室 床:ビニール床シート 壁:EP塗装 間仕切り:アルミパーティション 天井:LGS(耐震) その他:実験台、ロッカー、黒 板等の更新 照明:LED化 廊下:天井・床・壁の改修	教室 床:ビニール床シート 壁:EP塗装 間仕切り:アルミパーティション 天井:LGS(耐震) その他:実験台、ロッカー、黒 板等の更新 照明:LED 廊下:ビニール床シート
機能向上 トイレ 空調 昇降機	トイレドライ化 洋式便器 空調設置	トイレドライ化 洋式便器	トイレドライ化 洋式便器 バリアフリー 省エネルギー化 諸室の見直し	ドライ式トイレ 洋式便器 バリアフリー 省エネルギー化
多目的トイレ 設備システム更新			多目的トイレ 設備システムの更新	多目的トイレ 小人数教室等の設置
コスト (目安)	校舎 状況による	99,000円/㎡	198,000円/㎡	330,000円/㎡

: 点線の改修は、状況により実施

※整備レベルは学校を中心に記載しており、個別の状況から社会的ニーズに配慮したメニューを選択します。

第4章 学校施設等長寿命化計画

1. 整備方式及び整備の方向性

(1) 基本的な整備方式の考え方

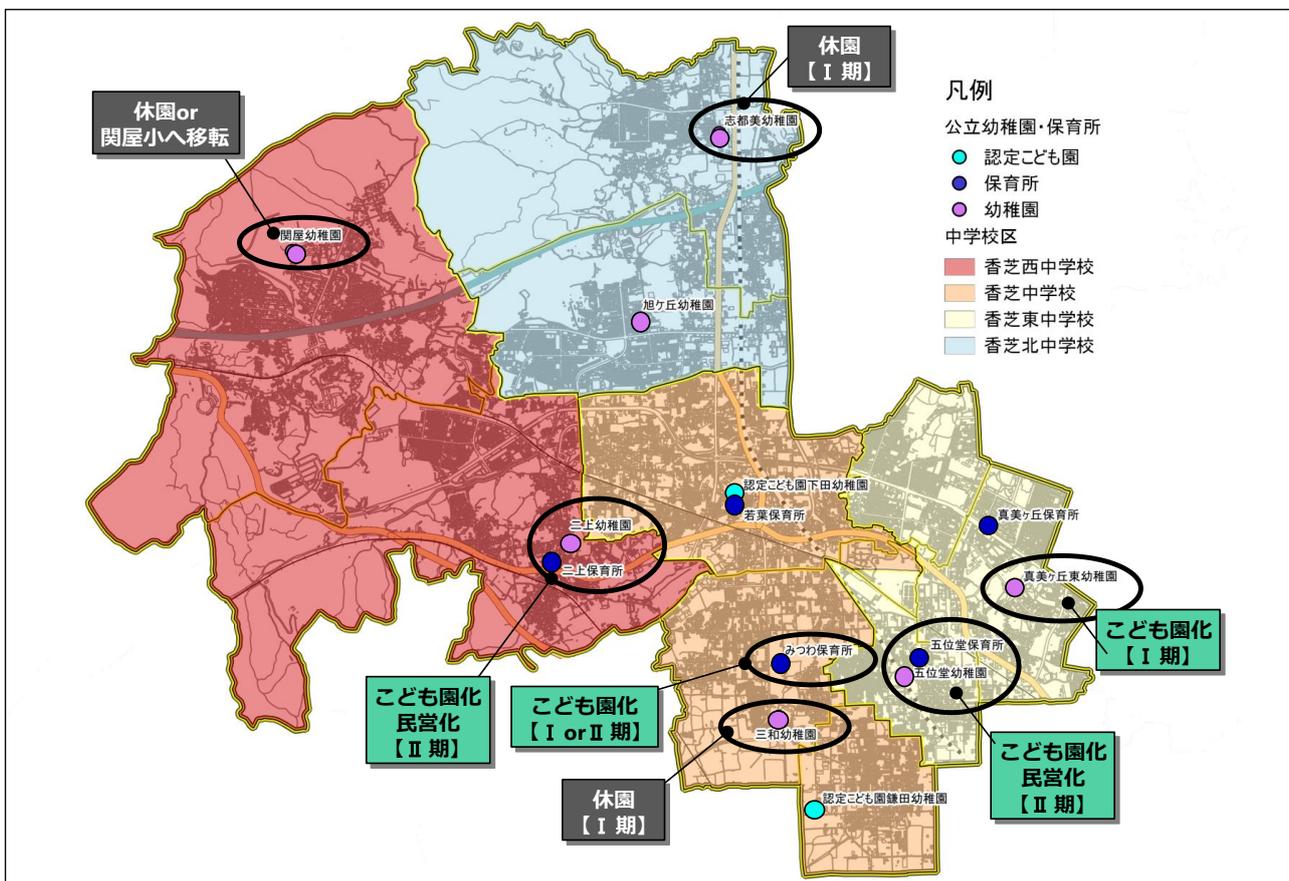
建物の整備の方向性に関わる項目を以下に整理し、各建物を分類分けします。校舎・屋内運動場等は、建築年に応じて「構造躯体の健全性」「躯体以外の劣化状況」から今後の整備の方向性を設定しました。

建築年	構造躯体の健全性		躯体以外の劣化状況	今後の整備の方向性
1971年以前 (帯筋強度改正年)	要調査	圧縮強度が 13.5N/mm ² 以下		築60年に建替え (D評価は直近10年間に建替えが無い場合は直近5年以内に部位の修繕・改修を行う)
		長寿命化		
1981年以前 (旧耐震基準後期)	要調査	S造の状況確認が必要	外部老朽化 (屋根・屋上、外壁が C評価)	築60年に建替え (ただし、状況が良好なら長寿命化80年)
			比較的良好な建物 (AB評価)	長寿命化改修を実施し築80年に建替え
	長寿命化	全体的に老朽化 オールC評価 (健全度40点以下)	築60年に建替え	
		早急な対応が必要 (D評価のある建物)	長寿命化改修を実施し築80年に建替え (D評価は直近10年間に長寿命化改修が無い場合は、直近5年以内に部位の修繕・改修を行う)	
		外部老朽化 (屋根・屋上、外壁が C評価)		
		設備老朽化 (電気、給排水設備が C評価)		
		上記以外で C評価のある建物		
比較的良好な建物 (AB評価)	長寿命化対応済とし、築60年に中規模改修を実施し築80年に建替え			
1982年以降 (新耐震基準)	長寿命化	早急な対応が必要 (D評価のある建物)	長寿命化改修を実施し築80年に建替え (D評価は直近10年間に長寿命化改修が無い場合は、直近5年以内に部位の修繕・改修を行う。)	
		外部老朽化 (屋根・屋上、外壁が C評価)		
		上記以外で C評価のある建物		
1999年以降 (築20年未満)	長寿命化	いずれかの部位に C評価のある建物	築30年(10年先送り)に中規模改修、50年に長寿命化改修、70年に中規模改修を実施し築80年に建替え (若しくは、再度躯体の健全性を調査し、80年を超えて活用)	
		比較的良好な建物 (AB評価)		

(2) 「公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針」における今後の方向性

現状と課題を踏まえ、実施期間をⅠ期（2019(R1)年度～2023(R5)年度）、Ⅱ期（2024(R6)年度～2028(R10)年度）、Ⅲ期（2029(R11)年度以降）と区分し、今後の方向性を整理しました。方向性に基づき、地域住民や保護者等に十分な説明を行い、理解を得られた地域から事業を進めることとしています。

中学校区	施設名	幼稚園 3歳児保 育	方向性	備考欄
香芝東 中学校区	五位堂幼稚園	未実施	Ⅱ期：こども園化⇒民間活力の導入	
	五位堂保育所		Ⅱ期：こども園化⇒民間活力の導入	
	真美ヶ丘東幼稚園	実施	Ⅰ期：こども園化	
	真美ヶ丘保育所		保育所のまま存続	
香芝 中学校区	下田こども園	実施	存続	
	若葉保育所		保育所のまま存続またはこども園化	
	三和幼稚園	実施	Ⅰ期：休園	
	みつわ保育所		Ⅰ or Ⅱ期：こども園化	
	鎌田こども園	実施	存続	
香芝西 中学校区	二上幼稚園	未実施	Ⅱ期：こども園化	
	二上保育所		Ⅱ期：こども園化	
	関屋幼稚園	実施	休園または関屋小へ複合化	
香芝北 中学校区	志都美幼稚園	未実施	休園	
	旭ヶ丘幼稚園	実施	存続（旭ヶ丘小と複合化）	



(出典「公立幼稚園及び公立保育所の再編等に関する基本方針（令和元年7月）」より 引用)

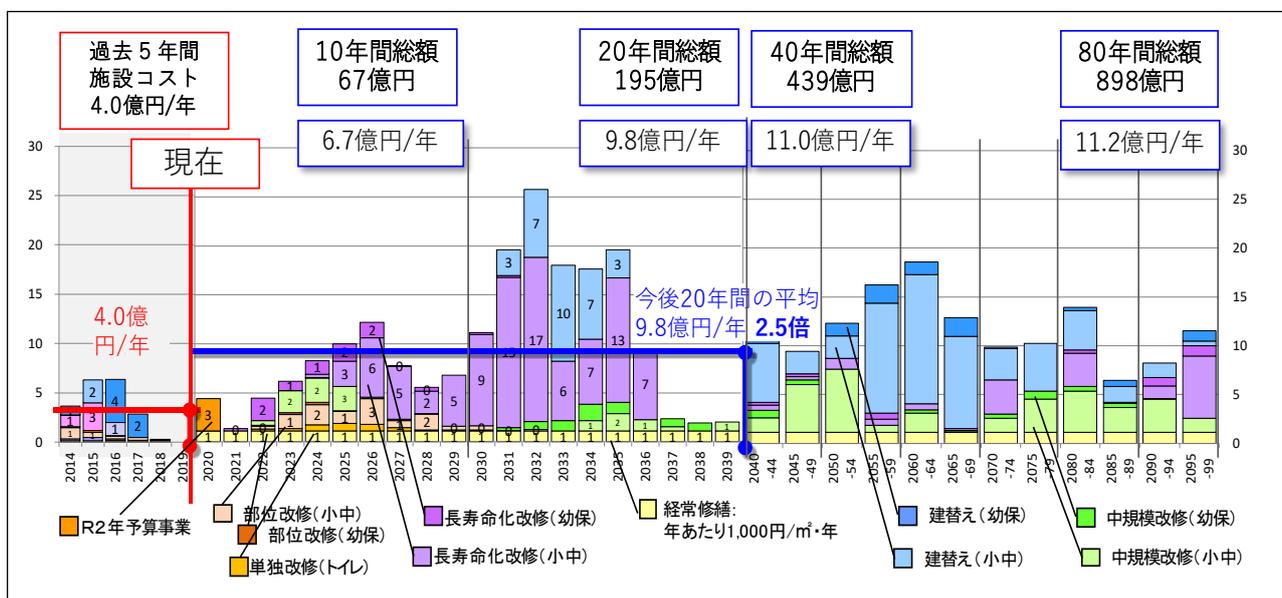
2. 長期の整備費用

前述した各施設の整備の方向性に基づき、整備費用の想定を行いました。老朽化状況、棟の経年および、各棟の面積を勘案し、各施設の整備時期を振り分けています。また、各校のトイレ改修を最初の10年間で実施します。

結果は、最初の10年間で年に小・中学校1校、幼稚園・保育所1施設ずつ改修工事を実施し、10年間は年平均6.7億円となります。20年間、40年間の総額は第2章の長寿命化型とほぼ同額となりました。

ただし、直近の施設コストとは2.5倍の乖離となっており、長寿命化や効率的な整備等、施設面の工夫だけでは財政とのギャップを埋めることが困難であることがわかります。

図表 将来施設経費の推計（建替えと長寿命化の併用）



3. 整備スケジュール（直近10年）

最終的な整備の判断は、学校施設ごとの今後の方向性を踏まえて行いますが、各学校施設の建物の状況を考慮した上で、学校単位の整備スケジュールを検討します。

整備時期を1期から4期に区分した長期整備計画のうち、第1期に実施予定の学校は次頁のとおりです。学校単位での優先順位は36ページの算定式で算定します。築年が古く、劣化の進んでいる優先順位の高い施設から順に改修等を行います。

なお、整備スケジュールは、社会情勢の変化に伴う市の財政状況や、児童生徒数の変化とともに、後述する適正規模・適正配置の進捗等により、大きく見直しをすることがあります。

図表 整備スケジュール（10年間）小学校・中学校

複数年事業は1年目設計、2年目以降工事

施設名	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	
小学校	五位堂 小学校					校舎1、2：部位改修		プール棟 ：部位改修			
							校舎3、屋内運動場、給食棟、便所：長寿命化				
						単独改修(トイレ)					
	下田 小学校				校舎3、屋内運動場、給食棟：長寿命化						
					校舎1：中規模	校舎2 ：部位改修	プール棟 ：部位改修				
	二上 小学校				単独改修(トイレ)						
					校舎1、2、4、屋内運動場：部位改修						
	関屋 小学校				校舎1、2、4、屋内運動場：部位改修		プール棟 ：部位改修				
		改修方針検討 (校舎1～3)	校舎1～3：中規模		屋外便所 ：部位改修					単独改修(トイレ) (R10～12年)	
	志都美 小学校				改修方針検討 (屋内運動場・ 給食棟)		屋内運動場・給食棟：中規模				
				校舎3、屋内運動場、給食棟：部位改修							
				プール棟・便所棟：部位改修							
三和 小学校				単独改修(トイレ)							
					校舎1、校舎2、屋内運動場：長寿命化						
					給食棟：中規模						
鎌田 小学校									校舎、屋内運動場、給食棟：長寿命化(R10～12年)		
								プール棟 ：部位改修			
真美ヶ丘東 小学校				校舎1・2・3、給食棟：部位改修							
				屋内運動場、：部位改修		プール棟、便 所：部位改修					
真美ヶ丘西 小学校	単独改修 (トイレ)										
				校舎、屋内運動場、給食棟：部位改修							
					プール棟 ：部位改修						
旭ヶ丘 小学校				単独改修(トイレ)							
					校舎1：部位改 修						
					屋内運動場・図書館、給食室： 部位改修	プール棟 ：部位改修					
中学校	香芝 中学校						武道場：部位改修		校舎5：部位改修		
							校舎1～4、屋内運動場：部位改 修		プール棟・部室：部位改修		
		単独改修(トイレ)									
	香芝西 中学校							校舎1、2、屋内運動場：長寿命化			
		単独改修 (トイレ)						校舎3、プール棟・部室：部位改 修			
香芝東 中学校										校舎1、校舎2、屋内 運動場：長寿命化(R 11～13)	
	単独改修 (トイレ)								校舎3：部位改修 (R11～12)		
香芝北 中学校							単独改修(トイレ)				

図表 整備スケジュール（10年間）幼稚園・保育所

複数年事業は1年目設計、2年目以降工事

施設名	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
幼稚園	五位堂幼稚園				保育棟 : 部位改修					
	二上幼稚園					保育棟 : 部位改修				
	志都美幼稚園									
	関屋幼稚園									
	三和幼稚園									
	真美ヶ丘東幼稚園	基本設計 (保育棟)	保育棟: 長寿命化							
	旭ヶ丘幼稚園									
	鎌田幼稚園 (認定こども園)								保育棟 : 部位改修	
	下田幼稚園 (認定こども園)							保育管理棟、保育棟 : 部位改修		
保育所	五位堂保育所		北園舎: 部位改修							
			東園舎: 長寿命化							
	若葉保育所		北園舎: 長寿命化							
			渡り廊下: 中規模							
	みつわ保育所									
	二上保育所						保育所: 長寿命化			
真美ヶ丘保育所					保育所: 長寿命化					

図表 優先順位の考え方

学校の総合点の付け方(校舎棟のみで算定)

$$\left(\text{築年} + \frac{100\text{点}-\text{健全度の点数}}{2} \right) \times \text{校舎棟の面積} \text{ の施設ごとの合計}$$

校舎棟面積の総合計

延床面積を計算に用いる理由…校舎は規模の大小があるため、学校ごとの評価において小規模な棟の劣化状況（小さい棟の場合、施設の主たる大きな棟を優先的に改修した結果、未改修である場合がある）に学校全体の評価が影響を及ぼさないように面積の加重平均を行っている。

100点-健全度*とする理由…健全度は数値が大きいほど、躯体以外の状態が良好であることを示す。満点（オールA評価）である100点から健全度を引くことで、躯体以外の劣化状況が悪いものほど点数が多くなる。

※ 「健全度」は、参考資料-3を参照

4. 学校の適正規模・適正配置と連動した長寿命化計画の推進

「第4章-2 長期の整備費用」において、今後40年の長期整備費用を示しましたが、直近の施設コストとは2倍以上のかい離となっており、長寿命化や効率的な整備等、施設面の工夫だけでは財政とのギャップを埋めることが困難であることが明らかとなっています。限りある予算の中で着実に計画を実行していくためには、施設面での工夫だけでなく、さらなる改善検討を重ね、経費縮減を実現することが必要となります。

(1) 学校の適正規模・適正配置の必要性について

本市の学校は、小学校は9学級から27学級、中学校は15から19学級と、特に小学校では学校間で学校規模に差があります。

学級数及び児童生徒数の少ない小規模校では、「クラス替えができない、クラブ活動や部活動の種類が限定される、人間関係が限定的になる」など、多様な考えや個性に触れる機会が減少し、教育活動が十分に取り入れられないなどの課題が生じます。

一方で、適正規模を超える大規模校にも、特別教室が不足したり発表の機会が減少するなど、小規模校とは逆の教育上・学校運営上の課題があります。

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（2015(H27)年1月文部科学省）」においても、今後、少子化が更に進むことが予想される中、義務教育の機会均等や水準の維持・向上の観点から踏まえ、学校規模の適正化や学校の小規模化に伴う諸問題への対応が将来にわたって継続的に検討していかなければならない重要な課題であるとの認識が広がっており、それぞれの地域の実情に応じた最適な学校教育の在り方や学校規模を主体的に検討することが求められています。

さらに、財政面からも、本市の保有する公共施設のうち約60%は学校施設であり、多くの割合を占めています。香芝市公共施設等総合管理計画において、今後40年間で施設総量（延床面積）の15%縮減を目標としていることから、予算をふまえながら最適な学校施設の維持管理を継続する上でも、学校の適正規模・適正配置のあり方を検討していくことが必要です。

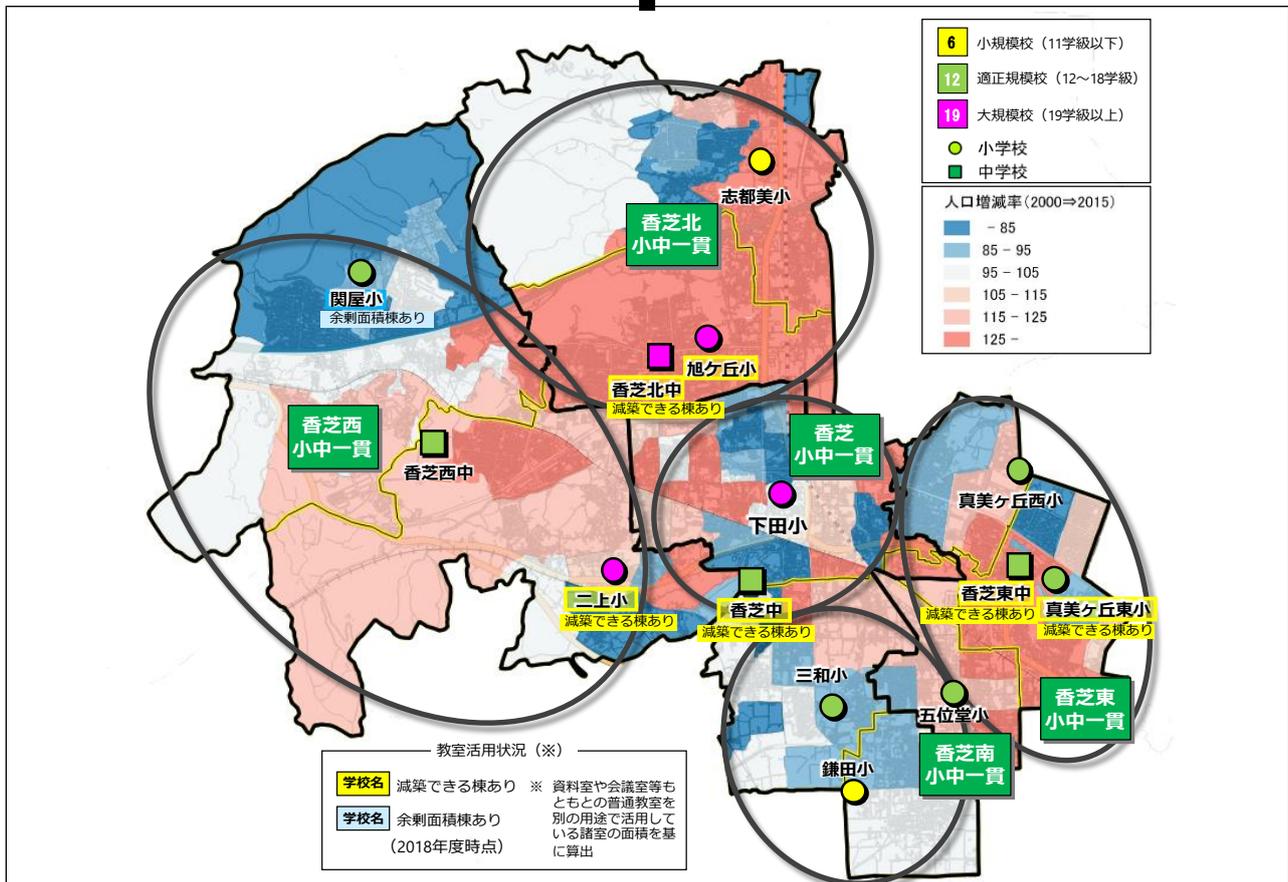
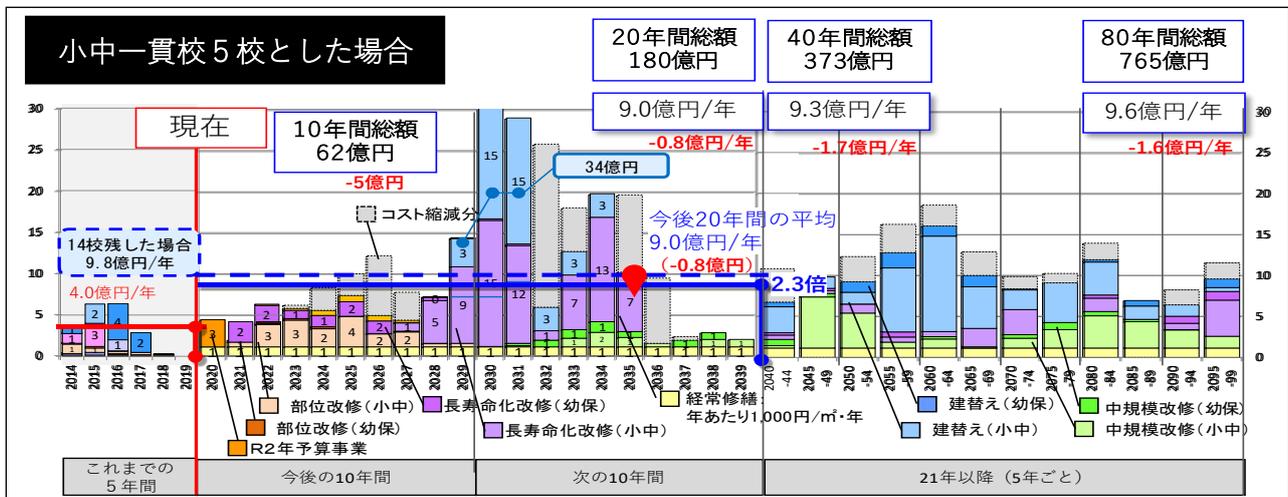
(2) 学校の適正規模・適正配置の方策について

本市では現在、小学校10校、中学校4校、合計14校の学校施設を保有していますが、「第2章 学校施設等を取り巻く現状と課題」で述べたとおり、同じ中学校区内にあっても学校ごとに将来の予測も異なっており、状況はさまざまであることから、今後は、それぞれの施設の更新時期に小中一貫化を視野に入れ、必要に応じて統廃合していくことも有効な方策と考えています。

第5章 今後の検討課題 ～さらなる改善に向けて～

以下は、15年間で市内の小中学校を小中一貫5校に集約した場合のモデルシミュレーションです。すでに小規模の学校から再編を図り、現状で大規模校の場合は将来の児童生徒の動向をみながら再編・統合していくとした場合、40年間総額では373億円・年平均9.3億円となり、第4章の長期計画より約15%のコスト削減が可能となります。直近の10年間でも5億円の費用削減効果が期待できるだけでなく、教職員数が確保されることによる教職員の負担軽減やサービスの集中、施設の管理面・運営面等の見直しによる効率化及び学校施設の多目的活用等のさらなる効果も期待できます。

図表 モデルシミュレーションと小中一貫化のイメージ



適正規模・適正配置と連動して学校施設等長寿命化計画を推進するだけでなく、今後は、管理面・運営面の見直しとして、学校プールを複数校で共有化、スポーツ施設と共用化したり、クラブ活動の外部委託化、さらに教職員の負担軽減のため施設の維持管理を切り離し外部委託を行ったり、管理を地域の団体等へ任せることで時間外活用しやすくするなど、本市が保有する社会資源を生かしてあらゆる方策の中から実行していくことでさらなる改善を図ります。これらは児童生徒により多くの活動の選択肢を与え、地域には多世代で活動を行うことで団体の活性化につながります。そのように取り組むことで、教育環境・生活環境の向上を図りながら、地域の活動拠点としても充実させていくなど、大きな効果を生み出していきます。

図表 長寿命化計画と連動して推進すべき改善方策メニュー例

適正規模・適正配置の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 通学区域の見直し ● 統廃合
管理面・運営面の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● プールの共用化、民間委託 ● 幼稚園・こども園、保育所を含めた給食センター化、共用化 ● クラブ活動の外部委託
学校施設の維持管理の見直し (教職員の負担軽減)	<ul style="list-style-type: none"> ● 教職員による施設管理の見直し ● 施設の時間外活用
空きスペースの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の公共施設（子育て関連施設等）との複合化 ● 学校を核としたまちづくり（地域の拠点施設）
小中一貫教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 9年間のつながり ● 学年を超えたつながり
面積基準の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 諸室の見直しによる教育環境の向上 ● 児童生徒数の変化に柔軟に対応
防災対応等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時の避難所機能の強化 ● セキュリティ対応（セキュリティ区分）

參考資料

参考資料 建物情報一覧表

建物情報一覧表は、施設の状況を把握するため、様々な情報を一元化したものです。

1. 建物基本情報

建物基本情報									
① 施設名	② 棟名	学校施設台帳番号	用途区分			延床面積(m ²)	③ 建築年度		④ 築年数
			建物呼び名	構造	階地上		西暦	和暦	
香芝中学校	校舎1	⑩-1、2	教室棟	RC	4	2,550	1974	昭49	44
	校舎2	⑪	教室棟	RC	4	2,289	1975	昭50	43
	校舎3	⑰、⑱	管理及び特別教室棟	RC	4	2,629	1976	昭51	42
	校舎4	⑲、⑳	特別教室棟	RC	3	2,507	1977	昭52	41
	校舎5	㉑	特別教室棟	RC	2	634	1977	昭52	41
	体育館	㉒	屋内運動場	RC	2	1,783	1978	昭53	40
	武道場	㉓	武道場	S	1	704	1991	平3	27

① 施設名

	中学校
	小学校
	幼稚園・こども園
	保育所

② 棟名（建物用途）

	校舎、給食、保育、園舎等
	屋内運動場、武道場等
	プール附属屋、部室等の小規模な建物

③ 建築年度

	1971年以前の建物
	1972～1981年の建物
	1982年以降の建物

④ 築年数

	50年以上の建物
	30年以上の建物
	30年未満の建物

2. 構造躯体の健全性・躯体以外の劣化状況・教育環境

構造躯体の健全性					躯体以外の劣化状況										教育環境									
耐震安全性		長寿命化判定			様										⑤ ⑥ ⑦									
基準	① 診断	補強	調査年度	② 圧縮強度 (N/mm ²)	中性化深さ	試算上区分	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上	電気設備	給水設備	排水設備	空調設備	その他設備	プール槽	エレベーター	④ 健全度 (100点満点)	給水装置	受変電設備	グラウンド	⑤ バリアフリー	⑥ 多目的トイレ	⑦ (ドライレ)
旧	済	済	2002	22.1	4.5	長寿命化	B	B	B	B	C	C	C	A	C	-	-	69				II	II	I
旧	済	済	2013	19.8	-	長寿命化	B	B	B	B	C	C	C	A	C	-	-	69				II	I	I
旧	済	済	2003	18.0	5.0	長寿命化	A	A	B	A	C	C	C	C	C	-	-	78				I	I	I
旧	済	済	2003	26.4	14.0	長寿命化	B	B	B	B	C	C	C	B	C	-	-	67				I	I	I
旧	済	不要	2009	24.9	1.9	長寿命化	D	D	B	B	C	C	C	-	C	-	-	55				I	-	-

① 耐震安全性

基準	旧	旧耐震基準（1981（S56）年以前の法改正前の建物）
	新	新耐震基準（1982（S57）年以降の法改正後の建物）
診断	済	耐震診断実施済み（※未実施建物はない）
	不要	診断不要
補強	済	耐震補強工事実施済み（※未実施建物はない）
	不要	耐震補強不要

② 圧縮強度

	コンクリート圧縮強度 13.5N/mm ² 以下
--	-------------------------------------

③ 評価基準（再掲）

	基準	経過年数による目安
A	概ね良好	標準耐用年数※の半分以上
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	標準耐用年数以内
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合の兆し）	標準耐用年数を超過
D	早急に対応する必要がある	著しい劣化事象がある場合

※ 標準耐用年数とは、各部位の一般的な仕様による耐用年数をベースに設定

（参考：保全センターデータベース 平成17年度版）

経年による評価（設備）（再掲）

	評価基準
A	更新後10年以内
B	標準周期（※次頁表）年数未満
C	標準周期（※次頁表）年数以上

標準周期 (再掲)

	NO.	対象部位	評価項目	標準周期
棟	①	電気設備	照明・自火報・非常放送	20年
	②	給水設備	給水管	40年
	③	排水設備	排水管	40年
	④	空調設備	機器(教室・管理諸室)	20年
	⑤	その他設備	給食リフト、循環装置(プール)	20年
	⑥	プール	プール槽	20年
	⑦	エレベーター	乗用エレベーター	30年
共用	⑧	給水装置	水槽、ポンプ	20年
	⑨	受変電設備	キュービクル	30年
	⑩	グラウンド	グラウンド	30年

④ 健全度

健全度とは、各建物の部位の劣化状況評価を100点満点で数値化した評価指標です。健全度は以下の算定式で求めます。

健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

健全度の算定式

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60 \text{(コスト配分の総計)}$$

部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

部位のコスト配分

部位	コスト配分	部位	コスト配分
1 屋根・屋上	4.7	7 排水設備	1.8
2 外壁	4.1	8 空調設備	3.6
3 外部開口部	8.9	9 その他設備	0.1
4 内部仕上げ	20.0	10 プール	3.5
5 電気設備	8.0	11 エレベーター	3.5
6 給水設備	1.8	計	60

コスト配分は、文部科学省の「長寿命化事業」の校舎の改修比率算定表を参考に設定

⑤ バリアフリー（車椅子での移動）

I	未対応
II	部分的にアクセス不可
III	各フロアにアクセス可能

⑥ 多目的トイレ

I	設置無し
II	設置済み

⑦ トイレ（ドライ化）

I	未対応
II	洋式化
III	ドライ化対応済

■ 香芝中学校区

建物基本情報										構造躯体の健全性					躯体以外の劣化状況												
施設名	棟名	学校施設台帳番号	用途区分 建物呼び名	階 構造 地上	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			棟												
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/m ²)	中性化深さ	試算上区分	屋根・屋上	外壁	外部開口部	内部仕上げ	電気設備	給水設備	排水設備	空調設備	その他設備	プール槽	エレベーター	
香芝中学校	校舎1	⑩-1、2	教室棟	RC	4	2,550	1974	昭49	45	旧	済	済	2002	22.1	4.5	長寿命化	B	B	B	B	C	C	C	A	C	-	-
	校舎2	⑪	教室棟	RC	4	2,289	1975	昭50	44	旧	済	済	2013	19.8	-	長寿命化	B	B	B	B	C	C	C	A	C	-	-
	校舎3	⑰、⑱	管理及び特別教室	RC	4	2,629	1976	昭51	43	旧	済	済	2003	18.0	5.0	長寿命化	A	A	B	A	C	C	C	C	C	-	-
	校舎4	⑲、⑳	特別教室棟	RC	3	2,507	1977	昭52	42	旧	済	済	2003	26.4	14.0	長寿命化	B	B	B	B	C	C	C	B	C	-	-
	校舎5	㉑	特別教室棟	RC	2	634	1977	昭52	42	旧	済	不要	2009	24.9	1.9	長寿命化	D	D	B	B	C	C	C	-	C	-	-
	体育館	㉒	屋内運動場	RC	2	1,783	1978	昭53	41	旧	済	済	2009	30.5	11.5	長寿命化	A	A	A	A	C	C	C	-	-	-	-
	武道場	㉓	武道場	S	1	704	1991	平3	28	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
	弓道場	①	弓道場	S	1	133	2003	平15	16	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	B	B	B	-	-	-	
	プール附属室	㉔	その他	CB	1	130	1984	昭59	35	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
	部室	⑫	部室	CB	1	52	1999	平11	20	新	不要	不要	-	-	-	-	B	B	B	B	B	B	B	-	-	-	
	部室	㉕	部室	CB	1	148	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
プール		プール	アルミ		500	1984	昭59	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C	C	-		
下田小学校	校舎1	①-1、2	管理教室棟	RC	3	2,790	1967	昭42	52	旧	済	済	2002	17.5	12.0	長寿命化	C	A	A	B	C	C	C	B	C	-	-
	校舎2	⑤-1、2	教室棟	RC	3	1,411	1970	昭45	49	旧	済	済	2013	21.6	7.9	長寿命化	A	B	B	B	C	C	C	A	A	-	-
	校舎3	⑭	教室棟	RC	3	873	1980	昭55	39	旧	済	済	1999	16.9	-	長寿命化	A	C	B	B	C	B	B	A	C	-	-
	給食室棟	⑮	給食室棟	S	2	289	1984	昭59	35	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	C	B	B	-	A	-	
	屋内運動場	⑧	屋内運動場	S	1	708	1972	昭47	47	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	C	B	B	C	C	C	C	-	-	-	
	プール専用附属棟	⑯	その他	CB	1	111	1988	昭63	31	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
	屋外便所棟	⑦	屋外便所棟	RC	1	33	2001	平13	18	新	不要	不要	-	-	-	-	B	B	B	B	B	B	B	-	-	-	
プール		プール	FRP		425	1988	昭63	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	C	-		
三和小学校	校舎1	①-1、2	管理教室棟	RC	3	2,420	1976	昭51	43	旧	済	済	1998	25.1	16.0	長寿命化	A	C	B	C	C	C	C	B	C	-	-
	校舎2	⑧-1、2、⑩	教室棟及び特別教室棟	RC	3	1,550	1979	昭54	40	旧	済	済	2009	26.6	12.7	長寿命化	C	B	B	B	C	B	B	A	C	-	-
	給食棟	②-1、2、3	給食棟	RC	1	154	1976	昭51	43	旧	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	C	C	C	C	C	C	-	-	
	屋内運動場	⑤-1	屋内運動場	S	1	656	1977	昭52	42	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	A	B	B	C	C	C	C	-	-	-	
	プール専用附属室	⑩	その他	RC	1	149	2004	平16	15	新	不要	不要	-	-	-	-	B	B	B	B	B	B	B	-	-		
	プール		プール	FRP		375	2004	平16	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	B	-	
鎌田小学校	校舎	①	管理教室棟	RC	3	3,079	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	C	B	B	C	B	B	B	C	-	
	給食室	④	給食室	S	1	112	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	-	C	-	
	屋内運動場	⑤	屋内運動場	S	1	693	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	B	B	C	B	C	B	B	-	-		
	プール専用附属室	⑥	その他	CB	1	45	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-		
プール		プール	FRP		375	2003	平15	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	B	-		
下田幼稚園(認定こども園)	保育・管理棟	①	保育・管理棟	S	2	878	1970	昭45	49	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	C	A	A	A	C	-	
	保育棟	③	保育棟	S	2	252	1986	昭61	33	新	済	済	-	-	-	長寿命化	C	A	B	A	C	B	B	A	C	-	
	プール		プール	FRP			1986	昭61	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C	C	-	
三和幼稚園	保育棟	①、②	保育・管理棟	S	2	975	1977	昭52	42	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	C	A	A	A	C	A	A	A	A	-	
	プール		プール	モル			1977	昭52	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C	C	-	
鎌田幼稚園(認定こども園)	園舎	①	保育・管理棟	S	2	818	1987	昭62	32	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	B	A	C	B	B	A	C	-	
	プール		プール	FRP			1987	昭62	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C	C	-	
若葉保育所	南園舎		園舎	S	2	320	1977	昭52	42	旧	済	不要	-	-	-	要調査	B	B	B	B	B	B	B	A	A	-	
	北園舎		園舎	S	2	676	1980	昭55	39	旧	済	不要	-	-	-	要調査	C	C	B	B	C	B	B	C	C	-	
	渡り廊下		園舎	S	1	19	1980	昭55	39	旧	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	C	C	-	
	南園舎 倉庫・物置		園舎	CB	1	14	2004	平16	15	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	B	B	B	B	B	B	B	B	-		
	プール		プール				1980	昭55	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C	C	-	
みつわ保育所	保育所		園舎	S	1	1,651	2017	平29	2	新	済	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	
	プール		プール				2017	平29	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	A	-	

■ 香芝西中学校区

建物基本情報										構造躯体の健全性					躯体以外の劣化状況												
施設名	棟名	学校施設台帳番号	用途区分 建物呼び名	階 構造 地上	延床 面積(m ²)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定				棟											
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/cm ²)	中性化 深さ	試算上 区分	屋根・ 屋上	外壁	外部開口 部	内部仕上 げ	電気設 備	給水設 備	排水設 備	空調設 備	その他設 備	プール 槽	エレベ ーター	
香芝西中学校	校舎1	①	管理棟	RC 3	1,211	1982	昭57	37	新	済	済	2013	35.0	12.3	長寿命化	A	A	C	B	C	B	B	B	B	C	-	-
	校舎2	②	普通教室棟	RC 3	2,284	1982	昭57	37	新	済	不要	2009	25.7	9.9	長寿命化	C	C	C	B	C	B	B	B	A	C	-	-
	校舎3	③-1、2	特別教室棟	RC 3	2,215	1982	昭57	37	新	済	済	2014	27.1	3.2	長寿命化	B	B	B	B	C	B	B	B	B	C	-	-
	配膳室	⑩	配膳室棟	S 3	207	2015	平27	4	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-
	体育館	⑦	屋内運動場	RC 2	1,479	1982	昭57	37	新	済	済	2010	28.6	18.5	長寿命化	A	C	D	B	C	B	B	-	-	-	-	
	プール専用附属室	⑧	その他	CB 1	137	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	-	
	部室	⑨	部室	CB 1	151	1983	昭58	36	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	-	
	プール		プール	アルミ	375	1982	昭57	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	C	
二上小学校	校舎1	①、②	管理教室棟	RC 3	2,598	1969	昭44	50	旧	済	済	2003	16.5	18.8	長寿命化	B	B	B	A	C	B	C	B	C	-	-	
	校舎2	⑭	特別教室棟	RC 2	520	1993	平5	26	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	B	B	B	C	B	B	A	B	-	-	
	校舎3	④	校舎棟	S 3	829	2005	平17	14	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	A	B	B	B	B	B	B	-	-	
	校舎4	⑯	校舎棟	S 2	568	2010	平22	9	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	C	A	A	A	A	A	B	A	-	-	
	校舎5	⑮	校舎棟	S 1	168	2010	平22	9	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	A	A	B	A	-	-	
	校舎6	⑰	給食室及び特別教室棟	S 3	719	2012	平24	7	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	
	トイレ棟	⑲	トイレ棟	RC 3	234	2014	平26	5	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-	-	
	便所	⑨	便所	CB 1	20	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	A	A	A	-	-	-	-	-	
	屋内運動場	③	屋内運動場	S 1	629	1972	昭47	47	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	D	B	B	C	C	C	-	-	-	-	-	
	プール専用附属室	⑪	その他	S 1	33	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	-	
	プール専用附属室	⑫	その他	RC 1	49	1990	平2	29	新	済	済	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	-	
	プール専用附属室	⑬	その他	RC 1	9	1990	平2	29	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	-	
	屋外便所棟	⑳	屋外便所棟	RC 1	34	2014	平26	5	新	不要	不要	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-	-	
プール		プール	FRP	335	1990	平2	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	C		
関屋小学校	校舎1	⑤-1	管理教室棟	RC 2	1,424	1971	昭46	48	旧	済	不要	2002	20.3	6.2	長寿命化	C	D	C	C	C	C	C	C	C	-	-	
	校舎2	④-1、2	教室棟	RC 2	840	1971	昭46	48	旧	済	不要	2003	15.8	7.0	長寿命化	D	C	C	C	C	C	C	A	C	-	-	
	校舎3	⑩-1、2、3	教室棟	RC 3	1,920	1977	昭52	42	旧	済	不要	2008	24.6	5.5	長寿命化	C	D	C	C	C	C	C	A	C	-	-	
	給食棟	⑤-3、⑭、⑲	給食棟	RC 1	165	1971	昭46	48	旧	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	C	C	C	C	C	C	-	-	-	
	屋内運動場	⑦	屋内運動場	S 1	619	1973	昭48	46	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	D	C	B	C	C	C	-	C	-	-		
	プール専用附属棟	⑳	その他	RC 1	142	2009	平21	10	新	不要	不要	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	-	-	-	-		
	屋外便所	⑱	屋外便所	CB 1	16	1996	平8	23	新	不要	不要	-	-	-	-	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-		
	プール		プール	FRP	375	2009	平21	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	A		
二上幼稚園	保育棟	①-1、2、3	保育・管理棟	S 2	597	1972	昭47	47	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	C	A	A	A	A	-	-	
	プール		プール	FRP		1991	平3	28	-	-	-	-	-	-	長寿命化	-	-	-	-	-	-	-	-	B	C		
関屋幼稚園	保育棟	①	保育・管理棟	S 2	683	1975	昭50	44	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-	
	保育棟	②	保育室	S 2	210	1978	昭53	41	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	A	A	B	C	-		
	プール		プール	FRP		1990	平2	29	-	-	-	-	-	-	長寿命化	-	-	-	-	-	-	-	-	B	C		
二上保育所	保育所		園舎	S 2	879	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	C	B	B	C	B	B	C	A	-		
	プール		プール			1982	昭57	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C	C		

■ 香芝東中学校区

建物基本情報										構造躯体の健全性					躯体以外の劣化状況												
施設名	棟名	学校施設台帳番号	用途区分 建物呼び名	階 構造	延床 面積(m ²)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定			棟												
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/mm ²)	中性化 深さ	試算上 区分	屋根・ 屋上	外壁	外部 開口部	内部 仕上げ	電気 設備	給水 設備	排水 設備	空調 設備	その他 設備	プール 槽	エレ ベーター	
香芝東中学校	校舎1	①-1、2、 ⑪	教室棟	SRC	3	4,880	1983	昭58	36	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	B	C	-	-
	校舎2	⑩	校舎	RC	3	954	1986	昭61	33	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	A	C	-	-
	校舎3	⑩	校舎	RC	2	386	1993	平5	26	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	B	B	A	B	C	B	B	C	B	-	-
	配膳室	⑫	配膳室棟	S	3	157	2015	平27	4	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	A	A	A	A	A	-	-
	体育館	②	屋内運動場 遊道棟	S	1	1,542	1983	昭58	36	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	B	D	B	B	C	B	B	-	-	-	
	プール附属室	⑥	その他	CB	1	123	1983	昭58	36	新	不要	不要	-	-	-		C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
	部室	⑤	部室	S	1	145	1983	昭58	36	新	不要	不要	-	-	-		C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
プール		プール	アルミ		375	1983	昭58	36	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	A	C		
五位堂小学校	校舎1	①、③-1、2	管理教室棟	RC	3	1,993	1968	昭43	51	旧	済	済	2012	20.1	19.1	長寿命化	A	B	B	B	C	C	C	B	C	-	-
	校舎2	②-1、2、3	教室棟	RC	3	1,905	1969	昭44	50	旧	済	済	2014	12.2	3.3	要調査	A	B	A	B	C	C	C	A	C	-	-
	校舎3	②-5	教室棟	RC	3	439	1978	昭53	41	旧	済	済	2008	24.8	6.2	長寿命化	C	B	B	B	C	C	C	A	C	-	-
	給食棟	⑤-1、2	給食棟	S	1	127	1971	昭46	48	旧	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	C	C	C	C	C	-	-	-	
	便所	⑨	便所	S	1	14	1987	昭62	32	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
	屋内運動場	⑧	屋内運動場	RC	2	872	1989	平成元	30	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	B	B	B	C	B	B	-	-	-	
	プール付属室	⑩	その他	CB	1	108	1996	平8	23	新	不要	不要	-	-	-		C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
プール		プール	FRP		374	1996	平8	23	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	A	C		
真美ヶ丘東小学校	校舎1	①、⑧	管理教室棟・特別教室棟	RC	3	4,467	1987	昭62	32	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	B	C	B	B	C	B	B	B	C	-	-
	校舎2	⑥	校舎	RC	3	586	1994	平6	25	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	A	B	-	-
	校舎3	⑦	校舎	SRC	2	770	1994	平6	25	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	A	B	-	-
	給食棟	④-1、2	給食棟	S	1	178	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	-	C	-	
	体育館	③	屋内運動場	SRC	1	732	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
	プール附属室	⑤	その他	SRC	1	39	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-		C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
	屋外便所・倉庫・物置	②	屋外便所・倉庫・物置	RC	1	47	1982	昭57	37	新	不要	不要	-	-	-		C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
プール		プール	アルミ		376	1982	昭57	37	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	C	A		
真美ヶ丘西小学校	校舎	①	校舎棟	RC	3	3,883	1987	昭62	32	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	A	A	B	B	C	B	B	B	C	-	-
	給食棟	③	給食棟	RC	1	182	1987	昭62	32	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	-	C	-	
	体育館	④	屋内運動場	RC	1	886	1987	昭62	32	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
	プール附属室	⑤	その他	RC	1	34	1987	昭62	32	新	不要	不要	-	-	-		C	C	B	B	C	B	B	-	-	-	
プール		プール	FRP		376	1987	昭62	32	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	C	A		
五位堂幼稚園	園舎	①	保育・管理棟	S	2	868	1971	昭46	48	旧	済	済	-	-	-	長寿命化	A	A	A	A	C	C	C	B	C	-	-
	プール		プール	FRP			1990	平2	29	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	B	C	
真美ヶ丘東幼稚園	保育・管理棟	①、②	園舎	S	2	1,243	1987	昭62	32	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	B	C	-	-
	プール		プール	FRP			1987	昭62	32	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	C	C	
五位堂保育所	北園舎		園舎	S	1	254	1990	平2	29	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	C	B	B	C	B	B	C	B	-	-
	東園舎		園舎	S	2	473	1977	昭52	42	旧	済	済	-	-	-	要調査	C	C	C	C	C	C	C	A	C	-	-
	プール		プール				1977	昭52	42	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	C	C	
真美ヶ丘保育所	保育所		園舎	S	2	905	1984	昭59	35	新	不要	不要	-	-	-	長寿命化	C	D	B	B	C	B	B	C	A	-	-
	プール		プール				1984	昭59	35	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	C	C	

香芝市学校施設等長寿命化計画

発行日：令和 2 年 3 月

発行：香芝市教育委員会事務局

編集：香芝市教育部教育総務課

〒639-0292 奈良県香芝市本町 1397 番地

TEL 0745-76-2001（内線 402）

E-mail：kyouiku@city.kashiba.lg.jp